

～こどもたちの生きる力を育む、切れ目のない発達支援を考える会～

平成 30 年度 明照保育園 公開保育

～心の豊かさ、心の強さの原点「乳幼児教育」～

今年度のテーマ

『乳幼児期に育みたい

10の姿の基盤にあるもの』



平成30年8月29日（水）

社会福祉法人 明照保育園

幼保連携型こども園

明照保育園 & 明照児童クラブ

こども
まてたメ～♪



★目次★

- p 1 本日の流れ
- p 2 園内案内図 & 本日の活動マップ
- p 3 本園の概要（地域に向けて）
- p 4 テーマ「乳幼児期に育みたい
10の姿の基盤にあるもの」
◆砂場における10の姿の育ち分析表
- p 9 指導案 0歳児（あか組）
- p 13 1歳児（そら組）
- p 16 2歳児（ゆき組）
- p 19 3歳児（ほし組）
- p 22 4歳児（はな組）
- p 26 5歳児（つき組）
- p 30 児童クラブ（第1・2・3）
- p 33 こども食堂「おとなりさん」
- p 35 子育て支援「在園児」「地域 つばめっ子」
- p 38 親支援「おやくる」
- p 39 公開保育参加者名簿

本日の公開保育 流れ

8:30 受付

★1階センターホールにて、本日の資料とネームプレートをお渡しします。

9:00 ♪全体会♪

★2階遊戯室にお集まりいただき、本園での保育実践について、紹介させていただきます。

9:45 ♪保育（園内すべて）及び遊戯室にて保育ギャラリーの公開♪

（11:15より遊戯室にて、子ども食堂・無料学習支援についての詳細を説明します。）

関心のある方はご参加ください。）

★資料内の案内をご覧になり、園内をご自由にご参観ください。

★遊戯室の後ろのボードに、各クラスをご覧になった感想などを是非書いてください！！

★職員ひとりひとりが自分の保育を語り、壁面に飾りました。いかがでしょうか？

★壁面や棚の上の冊子等は、本園のここまでの研究や取り組みです。ご自由にご覧ください。

★遊戯室にて、フリースタイルコーナーを設けています。ご自由にご歓談ください。

12:00 ♪ランチバイキング♪

★遊戯室にて、パンバイキング等のランチをセルフサービスにてご利用ください。

★本園の学年チーフも同席させていただきます。

楽しく語らいながら召し上がってください。

13:00 ♪交流会♪

★児童クラブによるパフォーマンス発表

★参加者と保育者の交流

～理想の地域連携について、みんなで夢を語ろう！～

14:20 ♪まとめ♪

お疲れ様でした。

★今後の会のために、アンケートへのご記入よろしくお願いいたします。

保育活動 マップ

屋上

2F

1F

3F

【児童クラブ】

【児童クラブ】

【新聞紙遊び・室内遊び】

★10:00~11:00

【全体会・ランチ・
ギャラリー】

【3歳児・
プール遊び】

【①よく見て色塗りしよう】

【②小麦粉粘土】

★10:30~11:30

【玩具作り・プール遊び】
★9:45~11:30

【2歳児・どろんこ遊び】

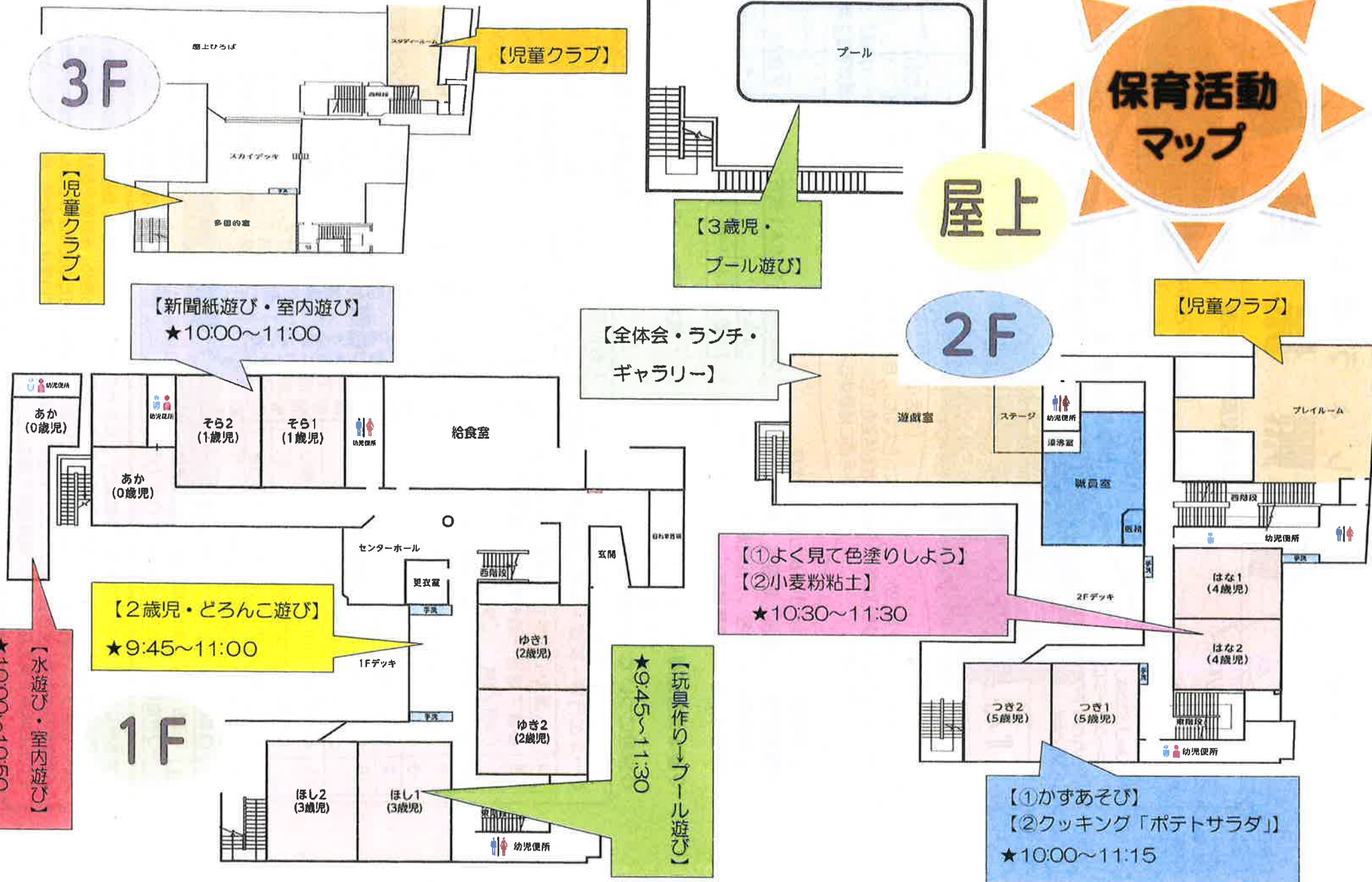
★9:45~11:00

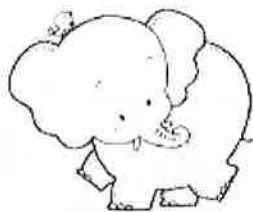
【水遊び・室内遊び】
★10:00~10:50

【①かすあそび】

【②クッキング「ポテトサラダ」】

★10:00~11:15





めいしょうほいくえん 明照保育園



幼保連携型認定こども園 明照保育園

〒441-8093 豊橋市牟呂中村町6-1

Tel 31-1419 Fax 31-1499

<http://www.tcp-ip.or.jp/~meisyou/index.htm>

理事長 & 園長 中島 章裕

かわいいとは、
ホームページに
たくさんアップ
してね!

見学どうぞ
(連絡してね!)

保育のねらい・大切にしていること

『心身ともにたくましく、思いやりのある子ども』

★豊かな感性と心情、まわりのものへの関心や意欲、
人との温かい関わり合いの中で生きていく姿勢を育みたいと思います。★

【養護】

ひとりひとりの個性を見つめ、
情緒の安定を図り、温もりのある
保育をします。

【生活・遊び】

生活リズムを大切に、自己活動と、友だちと
協調できる活動を、生活や遊びを通して
総合的に経験するようにしています。

【文化的活動】

個々の特性に応じながら、発達課題を
配慮していろいろな体験ができる
環境を整えます。

◇小学校区 主に牟呂小学校と汐田小学校

◇職員状況 園長・副園長 各1名

主幹保育教諭 1名 保育教諭 48名

調理員7名 事務員等 臨床心理士(嘱託)

◇園児数(H30.8.1現在)(1号15名含む)

年齢	0	1	2	3	4	5	合計
人数	13	44	51	53	52	55	268

◇基本保育時間 平日 8:00~16:00
土曜日 8:00~12:00

延長保育 平日 7:00~19:00
土曜日 7:00~12:00

◇施設について(敷地面積 1,615.17㎡)

園舎 鉄筋コンクリート造3階建 延べ 1,876.75㎡

◇一年の行事・保育・家庭との交流

4	◎入園式 ◎始業式 ◎家庭訪問 ◎総会
5	◎親子遠足 ◎保育参加(学年ごと) ◎内科健診 ◎歯科健診
6	◎フリーマーケット ◎個人懇談会
7	◎七夕会 ◎年長児宿泊保育
8	◎夕涼み会 ◎夏季保育
9	◎祖父母のつどい
10	◎園内運動会 ◎内科健診 ◎いもほり・焼きいもパーティー
1	◎明照まつり(ハザ-) ◎七五三宮参り ◎年長児おわかれ遠足
12	◎作品展 ◎クリスマス会 ◎もちつき
1	◎おめでとう会 ◎保育参加
2	◎節分豆まき(園内・校区交流)
3	◎遊戯会 ◎卒園児保護者会と三世代交流会 ◎お別れ会 ◎お茶会 ◎卒園式 ◎修了式

『親子ひろば』と園庭開放を順番に行つていきます。
・未入園児家庭を対象に定期的に、年齢ごとの
・定期的な園のバスで園外保育に出かけます。
・印は、ご家庭の方も参加する行事です。
・検便と検尿(年1回)・健康診断(年2回)・歯
科健診
・身体測定・誕生会・避難訓練・交通安全指導(毎
月)

◇保護者との連絡・交流

- ・園だより(学年だより) ・保健だより
- ・献立表 ・早起きカレンダー
- ・送迎時の懇談 ・個人懇談会
- ・“お知らせくん”…クラスの毎日の保育の様子を、その日のうちに保護者の携帯電話に配信します
- ・保育参加・給食(おやつ)試食会

◇家庭との交流

- ・映像による園だより『明照げんきつ子ビデオ』(無料貸出)
- ・四季折々の行事 ・育児相談 など

◇食物アレルギー症について

- ・医師の指導の下、除去食・代替食等で対応しています

◇入園時の諸経費

- ・園服園帽 ・保育教材 等

◇特別保育の実施状況

- ・時間延長保育 ・子育て支援事業

◇通園バス なし(園外保育用のみ)

赤ちゃんから年長さんまでが集う保育園に、小6までの児童クラブも併設され、集団ならではの良さを生かし、『みんなでいる楽しさ』を経験する場を大切にしています。臨床心理士も含め、未就園児家庭への子育て支援も積極的に行い、生活リズムや食育などの情報提供を行っています。ご家族の方との交流はもちろん、地域や小中学校との温かいかわりの中で、文化を大切にしつつ、四季折々の保育をすすめています。運動面、絵画造形面、食育の面等から子どもの成長を支えられるよう、職員全員で連携をし、一人ひとりの豊かな成長を見つめていきたいと思っています。

研究テーマ

乳幼児期に育みたい10の姿の 基盤にあるもの

非認知的能力の源であるアタッチメント…

★アタッチメント…「安心基地」

不安や恐れを抱いたときに、

特定の誰かにくっつくたい感情

安定したアタッチメント

→いざというとき必ず守ってもらえる

→辛くても逃げずにチャレンジする心

我慢する心

基本的信頼

保育の場でのアタッチメント??

★アタッチメントの相手…特定の人

園児から見れば母親、保護者が基本

★園は集団生活の場 & 母子分離の場

保育が親子関係にもたらすもの…

- 「園では食べられる野菜がうちでは食べない…」
「まっいいか、園で食べるんなら…」
- 「お迎えに来たのに、なかなか自分のところに来てくれない…」
- 「うちの子、先生といると聞き分けが良くて楽しそう。
私といるとグズグズで…」
- 「園でいられるんだから、もう少し仕事を増やそう」
- 「おばあちゃんに見てもらおうより、園で預かってもらおう」

保育・家庭支援の方向性

保育の場におけるアタッチメント

- 母親とのアタッチメント…本来の二者関係の感性
- 保育者とのアタッチメント…二者関係の感性と集団的感性
個々の子どものニーズを大切にしつつも、
子ども同士の関わりがスムーズに進むよう集団に配慮する



- ★安心できる生活＋保育者への信頼
- ★乳幼児期に出会った保育者との関わり
→集団の場で大人や友達との関わりにつながる

保育の場のアタッチメントの大条件＝質の高い保育

- 保育の質
 - ハード面…物的・人的環境（保育者と子どもの比率・クラス規模・保育者の質など）
 - ソフト面…保育者と子どもを中心とした様々な関わりのあるあり方

＋子どもの経験する内容の質

- ★保育の質を高めること＝子どもの非認知的能力の高まり
- ★質の高い保育は母子関係にも良い影響をもたらすという研究
「保育を活かす家庭支援」

保育の質の向上に向けて

①保育者の育ち合い…保育内容の検討を通して

- ★職員（保育者・調理員・事務員・児童クラブ員）チームを編成し、交流
- ★昨年度までの園内環境委員会を土台に
「10の姿」について保育活動・保育環境の視点で分析
- ★園内保育公開…「10の姿」を意識して指導案作成
- ★専門家による保育勉強会・園外での研修会・免許更新講習・キャリアアップによる自己研鑽

②子育て施設としての可能性～健全な親と子の有り様のために～

- ★園庭開放&親子ひろば
- ★おやくる
- ★児童クラブ
- ★園児と児童クラブの関わり
- ★子ども食堂&無料学習支援
- ★小学校とのスムーズな連携
- ・小学校との連携・地域の園との交流
- ★不登校生支援～園児との関わり～
- ★地域との関わり

保育活動・保育環境を「10の姿」から分析する ～ 園内研修・グループワーク実践（第1回目） ～

活動 環境	望ましい10 の姿	0歳児	1歳児	2歳児	3歳児	4歳児	5歳児	1年生
砂 場	健康な体と心	・外気に触れる。 ・砂を触ることに夢中になり、心が 落ち着く。（本能的なもの）	・太陽の光を浴びる。 ・手や指で砂や玩具（スコップ等） を握る。 ・不安定な場所を踏ん張って歩く。	・砂場の感触を手先や足の裏など身 体全体を使って楽しむ。 ・気候を見て夏場は涼しむことが出 来る場所として使用している。	・砂の感触を楽しみながら裸足で遊 ぶ。 ・裸足で遊んだ後に足や手を洗うと 綺麗になることに気付く。	・裸足で砂の感触を楽しみながら遊 ぶ。 ・ズボンが汚れないように、しゃが んで遊ぶなど自分なりに考える。	・砂の感触を楽しみながら、体を思 いっきり動かして遊ぶ。 ・服が汚れてしまわないように、遊 ぶ時の姿勢を意識する。	・砂や石、泥の感触に親しみながら 遊ぶ。 ・気候に合わせた服装を選んだり、 調節をしたりする。
	自立心	・砂場で遊びながら、いろんな所に 興味をし、目で追う。 ・興味を持って手を伸ばし、砂を掴 む。	・自分で好きな玩具を見つけて遊ぶ。 ・型抜きを見て、自分でやってみよ うとする。	・自分でイメージしたものを自分の 力で作ろうとする。 ・保育者や友だちと、関わろうとす る。	・保育者から離れて、友だちと一緒 に作ることを楽しむ。 ・「自分で作りたい」という意欲が湧 く。	・友だちの作っているのを見て、真 似をしたり、聞いたりしながら作 る。 ・自分でイメージしたものを友だち と一緒に協力して作る。	・自分でイメージしたもの（型抜き、 穴、泥団子）をかたちにしていく。 ・自分で使ったおもちゃを自分で片 付け、友だちの手伝いもする。	・自分で作りたいもの、作り方を考 えて、形にしていく。 ・時間を意識して、片付けをしてい く。
	協同性	・型抜きで出来た砂の固まりを潰す のを見て、真似してみる。 ・保育者と一緒に遊ぶ。	・友だちと一緒に物を使う。 ・友だちと一緒に遊ぶ。	・保育者やお友だちとお店屋さんご っこなどごっこ遊びをして楽しむ。 ・保育者や友だちと共通の玩具でイ メージを共有しながら遊ぶ。	・1つのもの（大きな山等）を友だ ちと一緒に作りあげる。 ・友だちと話しながらかける。	・山や温泉など友だちと一緒に作る。 ・お店屋さんや家族ごっこなど簡単 な役割分担をしながら遊ぶ。	・友達と遊びが重なっていい（〇〇 いいな、一緒にしたいな）中で、 協力して作ったり、一緒に遊んだ りする。 ・ごっこ遊びをしていく中で、必要 なものを協力して用意したり、作 ったりする。	・小さな子たちに、型抜きや泥団子 の作り方を伝えたり、手本を見せ たりする。 ・困っている子を見つけたら、進ん で手伝ったり、助けたりする。
	道徳心	・「砂を投げないでね」 「目に入ると痛いよ」と声をかけ ていく。 ・特定の玩具を気に入り、遊ぶ。	・「砂を投げない・かけない」「友だ ちの物を壊さない・取らない」など 簡単な決まりを知る。	・保育者やお友だちとお店屋さんご っこなどごっこ遊びをして楽しむ。 ・保育者や友だちと共通の玩具でイ メージを共有しながら遊ぶ。	・遊びの中で必要な物の貸し借りを する。 ・「スコップでたたかない」「砂を投 げない」など、やってはいけないこ とへの理解が深まる。	・物の使い方や貸し借りをしながら、 みんなで楽しむ。 ・自分が使いたいと思った物を他児 が使っていたら、聞いて待つなど、 どうしたらみんなで楽しく遊べる か考える。	・おもちゃをみんなの物だというこ とを意識して丁寧に使う。 ・自分や相手の気持ちを思いやり理 解して、おもちゃを譲り合ってい く。	・人が作ったものを壊すことなく、 大切にしていく。 ・物（カップやスコップなど）を大 切に扱うことを意識していく。
	社会生活との関わり	・周りの子（異年齢児）が遊んでい るのを見る。 ・年上の子に面倒を見てもらいな がら、一緒に遊ぼうとする。	・公園の砂場で地域の方と交流をす る。 ・他学年の子とともと一緒に遊ぶ。	・ごっこ遊びでは、自分たちで作 ったものをお金（葉っぱなど）を使っ て買おうとする。	・食べ物屋さんなど、ごっこ遊びを 楽しむ。	・お店屋さんやごっこ遊びを通して、 相手の気持ちを分かろうとする。 ・みんなで遊ぶ（共有の）物である ことを感じ、カップやスコップな ど物を大切に使う。	・今までの生活の中での経験を活か したごっこ遊び（お店屋さん、家 族など）をする。 ・小さい子たちにおもちゃの使い方 を伝える。	・生活の中で経験したこと、得た知 識を活かしながら遊んでいく。 ・小さい子たちに対して、分かりや す言葉を選びながら手助けをして いく。
	思考力の芽生え	・保育者が型抜きした物を見たり、 触ってみたりする。 ・砂を口に入れて、感触を確かめよ うとする。	・砂の感触を楽しむ。 ・型を抜くと形ができることに気付 く。	・自分たちで作りたいものをイメー ジする。 ・玩具の形から、砂を入れた際にど んな形になるか考える。	・「どうしたら大きな山ができるか な？」など、友だち同士で試行錯誤 しながら作る。	・自分でイメージした物を作るには どうしたらいいか考え、作ろうと する。 ・泥の質の違いに気づいたり、さら 粉の作り方を工夫したりしながら 作る。	・自分のやりたいことを実現してい くためには何が必要なのか考え実 験する。 ・砂の種類や水の量の違いによっ てさら粉や泥の性質が変化すること に気がつく（さら粉、泥団子作り）。	・自分の目的をより早く達成してい くためには、何が必要なのかを、 今までの経験から考えていく。 ・得た知識を活かして、より良いも のを作ろうとする。
	自然との関わり・ 生命尊重	・砂の感触を手で触って楽しむ。 ・「ダンゴ虫だよ」 「ムフランいるね」と声をかけ、身 近な生き物に興味を示す。	・砂場にいる虫に触れる。 ・葉っぱを拾って、砂に指して遊ぶ。 （組み合わせ）	・身近にいるダンゴ虫やパンダに 砂を使用して作ったご飯をあげよ うとする。 ・雨が降った後の砂場の砂の変化に 気づく。	・雨が降ったあとの砂は湿っていて、 様々な形が作りやすいことに気付 く。 ・裸足で遊ぶことで砂の感触に親し む。（初めは痛い慣れると気持ち良 いことに気付く）	・ムフランやダンゴ虫に触れながら、 生き物の生態を知り、思いやりの 気持ちを育てる。 ・前日に雨が降っていると、砂が湿 っていて、泥団子が作りやすいこ とに気づく。	・身近な生き物の生態を知り、より よい環境を考え、実行していく。 ・暑い日には、日陰を選んで遊ぶよ うにする。	・気候に合わせて、場所や遊び方 を考えていく。 ・生き物や植物の命を大切にしま ら観察する。
	数・形・標識	・砂場の玩具の形を知る。 （スコップやカップなど） ・型抜きをすることで出来る形を不 思議そうに見る。（たこやき・三 角・丸形など）	・型抜きの形や色に気付く。	・砂場用玩具の形を見て、自分のイ メージに近い形を選びようとする。 ・赤いお星さま、青い三角など色に 興味を持って楽しむ。	・型抜きで様々な形を作っていく中 で、「これはプリン みたいだね」など物の形に気付く。	・バケツに砂を入れて運ぶ際に、重 さに気づいて、量を減らすなど工 夫をする。 ・型抜きで出来た物や、泥団子を並 べ、数に親しむ。	・砂、泥によって型抜きの作りやす さが違うことに気が付き、作り方 の工夫をする。 ・友だちと作った泥団子の形や大き さを比べる。	・物の大きさと重さが比例している ことに気が付き、自分で、大きさ、 量の調節をしていく。 ・友だちの物と比べ、対抗心を燃や す。
	言葉による伝え合い	・保育者の言葉を聞く。 「さらさらだね」 「お山になったね」 「プリンできたね」 「やってごらん」	・遊びの中で、「これ貸して」「いい よ」など言葉のやり取りをする。	・保育者や友だちと作ったものを見 せて自分のイメージを伝えたり、砂 の感触を知らせようとしたりする様 子がある。	・「〇〇ができたよ」など、作った ものを友だちや保育者に伝える。	・友だちが作った物を褒めたり、作 ってみたいと感じたりし、聞いて みる。 ・作り方を言葉で分かりやすく伝え 合う。	・友だちの作っているものに興味を 持ち、作り方を聞いたり、聞かれ たことについて答えたりする。 ・自分が作ったものを、友だちにつ たえる。	・協力して作って行く中で、語彙力 が増えていったために、具体的な 指示が出てくるようになる。 ・小さい子に教えていく中で、分か りやすい言葉を考えて、伝えるこ とができる。
	豊かな表現・感性	・「プリンできたね」と保育者が作 った物を見て微笑む。 ・サラサラやささらなど温った土 の感触を楽しむ。	・砂で作ったものを見て、たこ焼 きやゼリーみたいであることに気付 く。	・砂を使用してケーキを作っている 子ども達同士で、お宮さん、お店 さんになってごっこ遊びを楽しむ。	・砂で作ったものを食べ物等に見立 てて遊ぶ。 ・作ったものを見て「これ富士山 みたいだね」など表現することを楽し む。	・友だちと一緒に作った大きな穴を 温泉に見立てて遊び合う。 ・型抜きで作った物を重ね合わせ、 アイスクリームなどイメージを 膨らませる。	・作った山を城に見立てて、そこ から様々なものを加えていくこと で、町が作られ遊びが発展してい く。 ・友だちと作っていたものが完成し たことに感動、喜び合う。	・協力したものが完成したことを喜 び合う中で、次への目標を決める ことが出来る。 ・完成したものを、人に認めてもら うことで、満足感を得て、次のス テップへ踏み出す。

【0歳児】あか 13名（男 7、女 6）

<1年のテーマ 「つなごうよ♪」～

✿手と手と手と、、、小さな手だけど、、、初めて出会ったきみだけど、、、>

- ・よく食べ、よく遊び、よく眠るというリズムを整えていきながら、家庭での生活リズムから園でのリズムに無理のないように進め、健康に機嫌よく過ごせるようにする。
- ・初めての社会生活や新しい生活環境で、不安に思う気持ちに寄り添い、保育者とのふれあいの中で、安心して自分を表現していき、思いを表出して、満足する気持ちを味わう。。
- ・子どもの思いやサインに気づき、受けとめながら、保育の場での愛着関係や信頼関係を築いていく。
- ・戸外あそび、遊具、音楽、絵画などの経験やあそびを通して、手指の触る感覚や聞く、見る、味覚などの五感を豊かに育んでいく。
- ・初めての子育てに不安を感じる保護者に寄り添い、子どもが安心して楽しく生活できるよう、生活の中の具体的な場面を話題にしていく。
- ・早朝、延長保育になる子が多いため連絡ノートや送迎時の対話で毎日の様子を伝え、家庭と保育園をつなげ、信頼関係を築いて、成長を喜び合い、相互に育ちを支え合えるようにする。
- ・離乳食の時期であるため、一人ひとりに合わせた安心で安全な調理法を調理員との連携を密に取り提供している。入園から「食べ物調べ」に、月に一度食べられるようになったものに○をつけて提出してもらうことで家庭での様子を聞きながら保護者と一緒に子どもに合わせて離乳完了まで無理のないように進めていく。。
- ・複数の0歳児と毎月入園してくる子ども一人ひとりの思いに気づき、受けとめられるよう複数の保育者で連携を密にとり、一人ひとりの子どもの安心と楽しい保育の場を心がける。

<入園当初からの成長>

- ・保護者の就労開始に合わせての入園となり、入園当初は保護者と離れる不安や生活リズムの違いから情緒不安な姿が見られる。保護者から家庭での生活の様子を聞きながら、一人ひとりの生活リズムや、育ち、毎日の体調に合わせて園生活になじめるようにしている。

生活リズム

- ・一人ひとりの生活リズム（午前寝をする子、体調面～睡眠、排便、食欲機嫌などを考慮して）や発達段階に合わせた対応を進めていく中で、保育者との信頼関係を築きながら、安心して過ごす姿が見られる。毎月新入児がいる環境の中で継続児とのスキンシップも多く取り、情緒の安定も図るようにしている。



食 事

- ・入園当初は口に運んでももらい食べることから、手づかみ食べやマグコップを自分で持って飲んだり、自分で口に入れることで自分で食べた、飲んだと満足感を感じられるようにしていくとともに、スプーンの使い方も徐々に知らせていく。お腹がすいて食べることで満たされ、睡眠もスムーズに入ることができている。



表現

- 指さしをして思いを表現したり、自分の思いが保育者に伝わることに満足する。
- 要求や感情を保育者に伝えようと片言、喃語などを話し、手遊びや歌に合わせて声を出したり、動きをまねたり、体を揺らして楽しんでいる様子が見られる。



運動

- 両手を打ち合わせる、指さし、握る、投げる、つまむことが見られる。
- プレイマットやジャングルジムにのぼったりよつんばい、たかばい、つかまり立ち、立つ歩くなど運動機能の成長が見られる。



人とのかかわり

- 探索活動したり、友だちの遊びに興味を持つようになり、同じ遊びをしたり、年長児や児童と遊ぶ中で動きを見て刺激を受けたり、優しくかかわってもらうことで嬉しそうに遊んでいる。
- 保育者が子どもの思いに寄り添いながら、「欲しかったんだよね」「一緒にあそびたいって」など言葉で伝えたり、遊具を十分に用意するように心がける。



<ねらいたい子どもの育ち>

- ・水あそびを保育者や友だちと一緒に楽しむ。
- ・室内で手足、全身を使って遊ぶことを楽しむ。

○ねらいを達成するための活動の流れ

☆6月20日

【野菜スタンプ押し】

- ・おくらやピーマンのスタンプ押しをする。

野菜の感触を味わいながら、絵の具をつけて模様ができることを楽しむ。

指先、手のひらを使ってスタンプあそびをする。



ついたよ！
おほしさまだね



☆本日 8月29日

【水あそびをする】

- ・ビニールプールやたらいで水あそびをする。
- ・水風船を触ったり、水を体にかけて遊ぶ。

- ・保育者と一緒に水の感触に親しむ。
- ・手指、てのひら、全身も使って、水あそびを楽しむ。



中に入ると、
気持ちいい♡



☆9月

【フィンガーペインティング】

- ・指や手で絵の具に触れて遊ぶ。
- ・絵の具のぬるぬる感を味わう。

自分で色を混ぜて、その様子を見たり、絵の具が滑る感触を楽しむ。

自分の思うように手指を動かして、表現する。

丸いのはなにかな？
押さえると、音が出るよ
面白いね(〜♪)



おててをペタン！
なにかな？

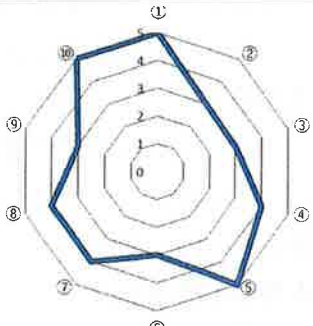


ついた、ついた
おててが黒いよ！



指導案 0歳児 あか組 8月29日(水)

担任 大場直子、大木祐子、中岡真由美、(杉浦恵子、中村由香)

子どもの姿			
・始めはたらいの中に入って遊んでいたのが、たらいから出て、ビニールプールに自ら入っていったり、ジョーロやバケツの水に手を入れて楽しんでいる。			
ねらい			
・保育者や友だちと水あそびを楽しむ。 ・手足、全身を使って遊ぶことを楽しむ。			
活動 「水あそびをする」 「室内遊びをする」			
【活動からの育ちが望まれる 10 の姿の分析】			
①健康な心と体 ②自立心 ③協同性 ④道徳性・規範意識 ⑤社会生活との関わり ⑥思考力の芽生え ⑦自然との関わり・生命尊重 ⑧数量・図形、文字等への関心・感覚 ⑨言葉による伝え合い ⑩豊かな表現と感性			
時刻	環境・準備	予想される子どもの活動	援助・配慮
10:00	＜場所＞ ・保育室横テラス ・保育室（ひよこ） ＜準備するもの＞ ・ビニールプール ・たらい	○保育者の近くに座り、保育者と一緒に手遊びや歌をうたう。 ・保育者の歌に合わせて真似をしたり、体を動かして楽しむ。 ・順番に水着に着替え、テラスで体をお湯やお水で体を流す。	・保育者と一緒に歌をうたったり、手遊びをして、水遊びを楽しみにできるような言葉をかけながら着替えをする。 ・複数の保育者間で連携を取り、着替え、水遊び、室内あそびの子どもの傍に寄り添い、子どもが安心して思いを表し活動をすすめられるようにする。
10:10	・ペットボトルの遊具 ・ジョーロ、バケツ ・ミニタオル、水風船 ＜室内あそび＞ 乳児用プレイマット、トンネル、音の出る遊具 ボールプールなど	○水あそびをする。 ・ビニールプールやたらいに入って遊ぶ。 ・ジョーロやバケツに入った水の中に手を入れたり、水をあけて遊ぶ。 ・不安になり、泣けてしまう子もいる。	・「気持ちいいね」「パシャパシャ楽しいね」と優しく声をかけながら安心して水遊びができるようにする。
10:30	・体を拭くタオル ・お茶	○水あそびをしない子は、保育室で遊ぶ。 （乳児用プレイマット、トンネル、音の出る遊具、ボールプールなど） ・友だちや保育者がやるのを見ている子や、自分から遊ぶ子もいる。。	・室内での遊びは体を動かす遊具や玩具を出して楽しめるようにする。 ・保育者は一人一人の好きな玩具や遊び方を見ながら、共感する。
10:50		○子どもの様子を見て、順番に体をお水で流す。 ・タオルで体を拭き、服を着る。 ・ゆったりと余韻を楽しみつつお茶を飲む。 ・お茶を飲む。 ・保育室で安心して遊ぶ。	・着替え、水分補給、玩具で遊ぶ子どもそれぞれが満足できるよう寄り添ったり準備、片づけの連携をスムーズに行う
		○片づけをする。 ・玩具を片づけ、畳に集まり、保育者の傍に座り、手遊びや絵本を見る。	・「楽しかったね」「また遊ぼうね」「気持ちよかったね」と共感の言葉をかけ、満足感につなげていく。

《評価のポイント》

- ・一人ひとりが水の感触を味わい楽しむことができたか。
- ・子どもが安心して遊びを楽しめるよう、寄り添いながら保育者が連携をもち、関わることができたか。
- ・子どもの成長や発達課題に合わせたあそびの提示をし、一人一人の思いや思いからの動きを受けとめ、見通しを持ちそのための環境や援助を柔軟に対応できたか。

【1 歳児】 そら 44 名 1 組（男 10 名 女 13 名） 2 組（男 10 名 女 11 名）

<1 年のテーマ “そらにむかって の～びのび” >

- ・一人ひとりの成長や思いに寄り添い、安心できる環境の中で「なんだろう」「やってみたい」と思える環境を作り、わくわくするような保育をしていく。
- ・保護者の不安や喜びに寄り添いながら、クラスだより等で子どもの成長が伝わるよう工夫していく。
- ・短時間勤務やフリー保育者とも連携をとり、日々の連携だけでなく互いの意見やアイディアを出しあえる雰囲気大切に作る。

<4 月からの成長>

生活リズム

- ・保育者や環境にも慣れ安心して過ごせるようになり、たくさん遊びたくさん食べ、しっかりと眠れるようになってきている。中には午前中は機嫌が悪く、食事と午睡をしてから機嫌よく過ごせる子もあり、家庭と連携をとりながら無理のないよう園の生活リズムに整えていくようにしていく。



きれいに拭けるよ

食事

- ・「食べさせてらう」から「自分で食べる」楽しさを感じながら食べている。入園してすぐは食べ慣れない物に対して、口にすることを嫌がっていた子も、保育者や友達に励まされて食べてみようとする姿が見られるようになってきた。「おいしいね」「上手に食べられるね」と言葉をかけながら、楽しい雰囲気の中で食事ができるようにしている。また、食事中に

手が汚れると気が付き、保育者に訴えたり自分で手や口を拭いてきれいにする子も増えてきた。

自我の芽生え

- ・自分でやってみたいという思いが見られるようになり、簡単な衣服の着脱をしようとする姿が見られ、保育者に褒められることを喜び、やってみようとする意欲をもって取り組もうとしている。
- ・月齢の高い子の中には、「いや」と言ったり思いが通らないとひっくり返ったりして思いを表す子も出てきている。一人一人の思いを優しく受け止め、思いに寄り添って援助をしていく。



人との関わり

- ・友達の様子に関心を持ち、同じ遊びをしたり、友達の名前を言ったりして関わろうとするようになってきた。時には物の取り合いも見られるが、友達と同じ遊びや玩具で遊ぼうとする気持ちが育っている。
- ・降園までの時間に年長児が遊びに来てくれるのを楽しみにしていて、近づいて様子を見たり自ら関わろうとする姿が見られる。児童クラブの子との関わりでは、お世話をしてもらうのを嫌がらずに任せている様子が見られた。

興味・関心

- ・遊びや生活の中で繰り返し経験していく事で、自信をもって取り組むことができるようになり、新しい遊びなどにも興味をもってやってみようとするようになってきた。また、保育者のまねをしたり、友達の様子に刺激を受け、簡単なお手伝いや身のまわりの事も自分から取り組もうとしている。



先生のまねっこ
「じゃんけんぽん」



何ができるかな？



＜成長にそった経験のねらい＞

- ・新聞紙など周りのものに興味をもち、五感を使って豊かにかかわる。
- ・全身や指先を使うことで、遊びの楽しさや満足感を味わう。
- ・保育者や友達と遊ぶことで、刺激を受け合う。

＜ねらいを達成するための活動の流れ＞

☆4月～

- 【シールはり・粘土あそび・おえかき】
- ・戸外で砂に触れて遊ぶ。

- ・保育者と一緒に好きな遊びを楽しむ。
- ・手や指先で様々な感触に親しむ。



みんなで絵かき

☆6月～

- 【糊付けあそび・絵の具あそび】
- ・糊に触れ、貼って遊ぶ。
 - ・フィンガーペインティングや筆などで色をつけて遊ぶ。

- ・保育者と一緒に糊の感触を味わう。
- ・手や筆で絵の具に親しむ。
- ・色や形、大きさに興味を持つ。



はじめての糊あそび



手でめりめり♪

☆本日8/29

- 【新聞紙遊び】
- ・新聞紙を破ったり丸めたりして遊ぶ。

- ・友達や保育者と一緒に新聞紙の感触を味わうことを楽しむ
- ・新聞紙など周りのものに興味を示し、自ら遊んでみようとする。

☆9月

- 【段ボールであそび】
- ・全身を使って段ボールで遊ぶ。

- ・積んだり、中に入ったりして全身を使って遊ぶ。
- ・友達と一緒に遊ぶことを楽しむ。



子どもの姿			
・水遊びやフィンガーペインティングなど感触遊びを楽しんでいる。			
・友達への興味が高まり、友達の近くで遊んだり、保育者が楽しそうにやり取りをしていると近くに来て一緒に遊んだりする姿がある。			
ねらい			
・新聞紙など周りのものに興味を持ち、五感を使って豊かにかかわる。			
・全身や指先を使うことで、遊びの楽しさや満足感を味わう。			
活動	新聞紙あそび		
活動からの育ちが望まれる 10 の姿の分析】			
①健康な心と体 ②自立心 ③協同性 ④道徳性・規範意識 ⑤社会生活との関わり ⑥思考力の芽生え ⑦自然との関わり・生命尊重 ⑧数量・図形、文字等への関心・感覚 ⑨言葉による伝え合い ⑩豊かな表現と感性			
時刻	環境・準備	予想される子どもの活動	援助・配慮
10：00	<場所：保育室> ・机を片付ける ・新聞紙を壁、ロッカー 床に貼り、破りやすい 仕掛けを作る。 <準備するもの> ・大きさが違う新聞 紙 ・養生テープ ・牛乳パック ・段ボール ・ビニール袋 ・片付け用の大きい 袋	○保育者のまわりに集まる。 ○新聞紙遊びをする。 ・畳で保育者の話を聞いて、やりたい気持ち が高まる。 ・保育者の真似をして、新聞紙をちぎったり 丸めたりする。 ・自分で破ったり丸めたりした物を友達や保 育者に見せ、嬉しい気持ちを伝えようとす る。 ・壁などに貼ってある新聞紙を楽しそうに破 る。 ・保育者や友だちと一緒に遊ぶ。 ○身近な素材を使って遊びをする。 ・牛乳パックや、段ボールなどの中に新聞紙 を入れて楽しむ。 ○片付けをする。 ・保育者の真似をして、新聞紙を袋に入れよ うとする。 ・畳に集まり、保育者の話を聞く。	・手遊びをし、これから始まる遊びに 興味が持てるようにする。 ・子ども達が積極的にやりたいと思う ことが出来るように保育者も表情 豊かに楽しそうに新聞紙に触れ、 「ビリビリ」「ぐちゃぐちゃ」と言 葉を添え、新聞紙の感触を味わえる ようにする。 ・「〇〇出来たね」と出来た喜びを受 け止め嬉しさを共有し、遊びの楽し さが更に広がるように関わる。 ・ものや場の探索的な関わりを楽しみ 新聞紙の感触を楽しく感じられる ようにする。 ・自分で遊びを見つけ、夢中になって いる子どもはそっと見守り、不安そ うにしているなど、自分で遊び見 つけることが難しい子には傍に寄 り添い、保育者と遊ぶことで、安心し て遊べるようにする。 ・子ども達の様子を見ながら、身近な 素材を使った遊びを見せることで、 少しずつ遊びを発展出来るように し、時には保育者が仲立ちとなって やりとりが深まるように関わる。 ・子ども達の思いや十分に新聞紙遊び を楽しめたことを共感しながら、遊 びから片付けへと気持ちを切り替 えが出来るように工夫をする。 ・「楽しかったね」「またあそぼうね」 と声を掛け楽しさを共感しながら、 また遊びたいという意欲に繋げて いく。

《評価のポイント》

- ・一人一人が新聞紙の感触を味わい楽しむことができたか。
- ・子どもの気持ちに寄り添いながら、言葉や表情で柔軟に対応し共感することができたか。
- ・子どもからのサインを受け止め、遊びが発展し片付けまで満足感が味わえるよう保育者の連携がとれていたか。

【2歳児】 51名 ゆき1組 26名（男12人、女14人）、ゆき2組 25名（男11人、女14人）

<1年のテーマ “ぼくらの未来へ冒険だ！”>

- ・何でもやってみたい時期から一歩進み、「頑張ればできそう」～「できた！」という体験を重ねていくことで、**意欲や自信**へと繋げ、『自分でやってみたい♪』と**好奇心**にも繋げていけるようにする。
- ・異年齢との交流を通して、「あんなことをやってみたい！」という憧れの思いや「こんなことをやれるよ」という**お手伝いへの意欲**を育てていく。
- ・登降時や連絡ノート、キッズノートで保護者の方と直接やりとりをする機会をつくることで、保育園と家庭での子どもたちの姿やエピソードを伝え合い、相談ごとにも安心して話せる信頼関係を大切にします。
- ・1・2組の担任入れ替え、クラスの自由な行き来だけでなく、後半には他学年の担任とも交代をしてみることで、大人も子どもも刺激を受けながら一緒に楽しみ育ちあっていく。
- ・子どもも保育者も、まわりの様子にも気付く目を持ちつつ、**自分を大いに表現**できるような環境、雰囲気づくりをする。



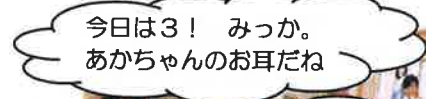
<4月からの成長>

自立心 思考力の芽生え

- ・生活のなかで毎日繰り返す動作については、保育者が活動予定を伝えるだけで、子ども達で自主的に準備を進めようとしたり、次に何をすれば良いのかをわかり始めているので、きっかけを投げかけて、子ども達で考えて片付けをしたりトイレに行ったりできるような時間もつくるようにしている。
- ・お手伝いへの興味が深まり、食器の仕度や片付けだけでなく、食後の清掃(食べこぼし拾い、雑巾がけ)にも、積極的に参加し、「3こあつめたよ!」「そうきんやりたい!」と、瞳を輝かせて知らせに来る。

道徳性・規範意識 数量・図形、文字等への関心・感覚

- ・日々のおやつ準備などをとおして数や量に関心をもつ場面が多く、「ひとり2個ずつね～」と、言いながらテーブルで分けたり、自分の食べられる量に応じて大小を見分けながらフルーツを選択したりすることで、少しずつ理解し始めている様子がみられる。



協同性 言葉による伝え合い

- ・友達の名前を覚えて呼び合ったり、気の合う友達の行動を見て一緒にテーブルを選んだりする姿が見られ、女兒を中心に友達との話が増え始め、相手の話を聞いて自分のことを話すなど、会話のキャッチボールが続く子も出始めている。
- ・着席の場面では、「△△ちゃんが席を探していま～す」と、全体に声をかけると、「こっち空いているよ!」と、手招きをして知らせてあげる様子も日常になってきた。そのやりとりで声は出さずとも近くで見ている子たちの名前を、保育者があえて呼んで「〇〇くんのとなり(前)、いいかな?」と、仲介をすることで「うん」と頷く姿もある。

テラスで給食
おいしいね～



健康な心と体 豊かな表現と感性

- ・給食やおやつでは、野菜や豆類などを苦手なメニューがある子に保育者がそばで励ます様子を見て、「おいしいよ」「ちょっとだけ食べてみりん」と、友達の隣で一緒になって声をかけようとする場面もある。
- ・成長や発達の違いを考慮して、菓子の袋に切れ目を入れておいたり、順番を先に呼んだりすることで、ゴールの達成感を一緒に感じられるよう工夫している。子どもたち同士でも自然に手伝い合う姿が見られ、ただ手伝うのではなく相手に訊きながら手を差し出すような子もいて、保育者も感心する。

<ねらいたい子どもの育ち>

- ◎砂や水を直接肌で感じ、季節ならではの感触遊びを友達と楽しむ。
- ◎自分でできる身の回りのことを進んでやってみようとする。

いっしょに
はろう！
おもしろいよ～



<ねらいを達成するための活動の流れ>

★4月～

【様々な感触遊び】(4月～)

- ・砂遊び
- ・いろいろな方法で絵の具を使う

- ・砂場でままごとをしたり、協同で山づくりをしたりし、砂の特性や感触を感じながら遊ぶ。
- ・絵の具を使った制作活動を通して、画材に親しむ。(指、タンポ、風船、ストロー、スタンプなど)
- ・砂や絵具が肌につくことに慣れ、洗浄のしかたも知る。



ふうせんで
そ～っとね
ポンポンって
やるんだよ

★6月末～

【水に親しむ】(6月末～)

- ・ビニールプールで水遊び
- ・シャワー遊び
- ・屋上大プールでワニ歩き
- ・色水遊び、泡遊び

- ・テラスや屋上で友達と水遊びをし、水の面白さや気持ちよさを感じる。
- ・容器、色水、泡、水鉄砲などを使って、水遊びを楽しむ。
- ・水滴やシャワーを浴びて、大胆な水遊びにも親しむ。
- ・遊びのあとの片づけをし、自分で頭や体を拭いてみる。



きゃ～！！
あわ～！！
ふわふわ♪
ぶくぶく♪



★本日 8月29日

【夏ならではの遊び方を楽しむ】 (8月29日)

- ・泥んこ遊び
- ・ボディーペイント遊び

- ・泥んこ用のパンツを着用し、川や山を作ったり、全身で砂や泥の感触を楽しんだりして遊ぶ。
- ・絵の具を体につける経験をとおして、友達の様子を意識し、自分の思いをまわりの人に言葉で伝えようとする。
- ・体を清潔にし、さっぱりとした心地よさを味わう。



★～3月末

【遊びを主体的に楽しむ】(～3月)

- ・積極的に参加しようとする
- ・楽しいと思う遊びを見つけて遊ぶ
- ・友達と関わりながら楽しむ

- ・苦手と思うことにも少し挑戦してみる気持ちをもつ。
- ・好奇心をもって遊びを楽しもうとする力を育む。
- ・友達と組み合わせたり比べたりして、会話や刺激をし合いながら楽しく遊ぶ。

担任 ゆき1組:宮路友紀 近藤萌葉 近藤瑠美 片山桃子 (伊藤永秀)

ゆき2組:谷山裕美 平安由香利 高松佑衣 山下美月 (鈴木優香)

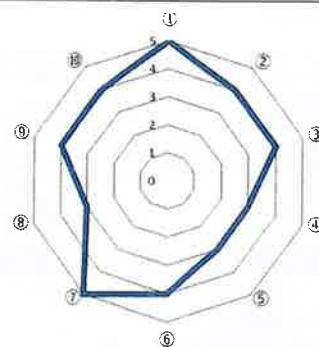
子どもの姿

- ・自分でできることが増えてきて自分の身の回りのことを意欲的に行い、お手伝いも楽しみにする姿が見られる。
- ・周りの子に興味が出てきて、保育者や友達と言葉のやりとりを楽しんだり見立て遊びをしたりする様子が増えてきた。

ねらい

- ◎泥や水を直接肌で感じ、夏ならではの感触遊びを楽しむ。
- ◎自分でできる身の回りのことを進んでやってみようとする。

活動 だるま遊び ボディーペイント (園庭)



【活動からの育ちが望まれる10の姿の分析】

- ①健康な心と体 ②自立心 ③協同性 ④道徳性・規範意識 ⑤社会生活との関わり ⑥思考力の芽生え
⑦自然との関わり・生命尊重 ⑧数量・図形、文字等への関心・感覚 ⑨言葉による伝え合い ⑩豊かな表現と感性

時刻	環境・準備	予想される子どもの活動	援助・配慮
9:45	<場所>保育室	○絵本「こぐまちゃんのみずあそび」を見る。 ・絵本を見ながら、だるま遊びを楽しみにしている。	・だるま遊びに期待が持つことが出来るように声掛けや導入をする。
9:50	<場所>園庭 園庭に水を撒いておく。	○だるま遊びの支度をする。 ・脱いだ衣類を丁寧に畳み、だるま用パンツに履き替え帽子を被る。	・衣服を丁寧に畳むように声を掛け見守りながらも、難しい時は援助をしていく。
10:00	《準備するもの》 ・ホース ・スプリングラー ・小カップ	○だるま遊びをする。 ・手や腕、足から泥をつけていき、少しずつ泥の感触を楽しむ。 ・カップの中に泥を入れて、ジュースやごちそうに見立て、友だちとやり取りをする。	・保育者も子どもと一緒に泥に触れて楽しんでいる姿を見せていき、泥が体につくことに抵抗がある子は水遊びから始め、泥に対する抵抗を減らしていく。
10:20	・筆 ・絵の具入りカップ	○ボディーペイントをする。 ・筆や指を使って絵の具を体につける。 ・絵の具を体につけることに驚いたり戸惑ったりしながらも、少しずつ絵の具をつけることを楽しむ。	・初めての経験に戸惑う子には、無理のないよう少しずつ体に絵の具を体につけていき、ボディーペイントに興味をもてるようにする。 ・絵の具の感触に慣れてきたら、子どもたちのイメージが膨らむよう保育者一人ひとりが工夫し、遊びを展開していく。
10:40	・洗い桶 ・軍手 ・洗濯かご ・体を拭くタオル ・足拭きマット	○片付けをする。 ・使った物をカゴに入れて、パンツと帽子を脱ぐ。 ・体を保育者に洗ってもらった子から体を拭く。楽しかったことを保育者や友達と話し、余韻に浸りながら着替える。	・片付け中も、「楽しかったね」「またやろうね」などと声を掛け、楽しい気持ちを共感する。 ・保育者がそれぞれ必要な場所に位置し、子どもの動きに応じて対応していく。
11:00			

《評価のポイント》

- ・泥や砂、絵の具遊びをとおして、保育者や友達の様子から刺激を受けとって、遊びの楽しさを充分味わうことができていたか。
- ・一人ひとりが砂や水の感触を味わい、土の変化のおもしろさを感じられる遊びや学びにつながる経験の環境をつくることができていたか。
- ・子どもの様子や状況に合わせ、それぞれの子どもに合った環境が柔軟に作れていたか。

【3歳児】 ほし1組 27名(男 12、女 15) ほし2組 26名(男 11、女15)
<1年のテーマ “ぐんぐん!めきめき!ミラクル!”>

☆「やってみたらできちゃった!」⇒身の回りのことを丁寧に取り組み、生活習慣を身につけていく。
(健康な心と体・自立心・思考力の芽生え)

☆フルパワーで今日も楽しい!⇒☆ダイナミックな活動を通して、心動く、躍る、ミラクル♪
(豊かな感性と表現・数量や図形、標識や文字などへの関心、感覚・思考力の芽生え)

☆失敗しても大丈夫!!⇒Let's Try!!!ミラクルチェンジ(変身)!! 挑戦⇔自信
(協同性・道徳性、規範意識の芽生え・言葉による伝え合い・思考力の芽生え)

☆公園に出かけ、たくさんの発見!ミラクル!⇒☆四季に合わせて身近な生き物を飼育観察。
(自然との関わり、生命の尊重・社会生活との関わり)

☆一緒にあそび!⇒おもしろいね!こうしてみたら?ミラクル♪(言葉による伝え合い・協同性)

☆なだうとのやりとり⇒☆伝え→ぶつかり→仲直り!ミラクル♪
(道徳性、規範意識の芽生え・言葉による伝え合い)



<4月からの成長>

生活する力

- ・身支度やロッカーの整理整頓など何事も意欲的に取り組み、基本的生活習慣を自分で意識して生活しようとする姿がある。上手く出来ないことに対しては素直に「できないよ。」「どうすればいい?」と友だちや保育者へしっかりと自己主張する姿がある。
- ・給食後の片づけや掃除など「自分達で♪」が盛り上がり、今では「任せて♪」とお手伝いをイキイキと取り組む姿へと変わりつつある。「ママにも見せてあげちゃった!」と家での変化も見られている様子。

かかわる力

- ・自己主張がしっかりと出来る分、感情を思い切りぶつけ合う様子が多く見られていたが、少しずつその思いを言葉にして伝えることで“分かってもらえる嬉しさ”を感じている様子。簡単な言葉を使って伝えたい気持ちが膨らんでいるが、まだまだ感情的になる場面が多い段階。



「いらっしやいませ〜♪
<お店屋さんごっこ>

学ぶ力

- ・四季に合わせて生き物を飼育観察中☆(保護者への協力もお願い)
「あおむしさん変身したね!」「おたまじゃくしに足がでた!」などの面白さや発見が溢れている。またその思いを絵にしたり、リズムあそびで表現したりすることを楽しんでいる。



みて〜!
だんごおしって
丸まるんだね〜
<飼育観察>

<成長にそった経験のねらい>

- ・水の不思議さや面白さを感じ、能動的に楽しんだり、取り組んだりする。
- ・友だちと積極的に関わりながら、思いを伝え合い嬉しさや楽しさを共感する。



<ねらいを達成するための活動の流れ>

★7月～

【プールあそび】

- ・全身を使って水の感触を楽しむ。
- ・自分で着替え、後始末もする。

- ・水の感触を味わい、気持ち良さを感じる。
- ・水着を絞って後片付け♪



★8月上旬

【泥んこあそび】

- ・泥んこあそびをする。
- ・自分達で片付けをする。

- ・気の合う友だちと一緒に砂や泥の感触の違いを味わい、全身を使って表現する。
- ・掃除をする大変さも感じながら、友達と一緒にきれいになる嬉しさを感じる。

(実は入る前はこわかったんだけどね...)
プール♪
だ～のし
かった～!



発見!! ここの砂♪
さらさらしてる～♪



ひゃ～!!
流れてく～～!!!



洗うのって大変...
でも洗って次も使おう♪



★本日(8月29日)

【プールあそび】(8月29日)

- ・船をつくる。
- ・プールに浮かばせて遊ぶ。

- ・自分で作った船を浮かばせ、「浮く」不思議さや面白さを感じ、友だちと共感し合う。

お当番活動



★9月

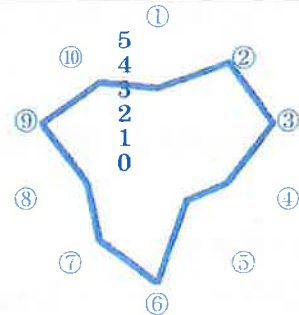
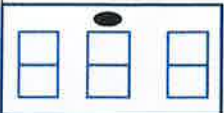
【宝さがしあそび】

- ・保育室やプールの中で宝さがしをする。
- ・最後まで自分達で片付けをする。

- ・水の素材の性質(沈む)を知り、不思議さを感じながら自分で作りたいものを作ろうとする。
- ・自分達で出来た!という満足感を感じる。

ミラクル
チェンジ～♪
<表現あそび>



子どもの姿			
・水の気持ち良さを感じながら、友だちと一緒にプールあそびを楽しむ姿が見られる。 ・ペンや絵の具を用いて、壁面づくりやうちわづくりを楽しんでいる。			
本時のねらい			
・水遊びを楽しみ、水の不思議さや浮かぶ面白さを感じる。 ・自分で玩具を作ったり、遊んだりすることを楽しむ。			
主活動 「ふねを作り、それを使ってプールで遊ぶ」			
【活動からの育ちが望まれる 10 の姿の分析】			
①健康な心と体 ②自立心 ③協同性 ④道徳性・規範意識 ⑤社会生活との関わり ⑥思考力の芽生え ⑦自然との関わり・生命尊重 ⑧数量・図形、文字等への関心・感覚 ⑨言葉による伝え合い ⑩豊かな表現と感性			
時刻	環境・準備	予想される子どもの活動	援助・配慮
9:45	<準備するもの> ・絵本 <場所> ・ほし組保育室 	○絵本「ペンギンきょうだい ふねのたび」を見る。 ・「海だ!」「大きな船だね」など絵本を見て感じたことを思い思いに伝えようとする。 ○「ぶかぶか&どぼんクイズ」をする。 ・水槽の中に身近なもの（ビー玉やペットボトルのふたなど）を入れて、浮いたり沈んだりする様子を見る。 ○ふねを作る。 ・コップやトレーにペンを使って絵を描く。 ・児童クラブの子に手伝ってもらいながら、ふねのパーツを接着する。 ・完成したふねを見て喜び、「みてー!」「できたよ」と保育者や友だち同士で見せ合う。 ○保育室で海ごっこをする ・ビニールの海が現れたことに驚きながら、そこにふねを浮かばせたい気持ちが盛り上がる。 ・浮かんでいる様子を見て、感じたことを言葉で伝えようとする。 ・もっと大きなところで浮かばせたい気持ちが膨らむ。	・これからの活動に興味を持てる雰囲気づくりをする。 ・水の中に入れたものになり切って、ぶかぶか浮いたり、沈んだりする様子を身体で表現するなど、楽しく見ることが出来るような工夫をする。 ・顔や虫など思い思いのものを描けるよう声掛けをする。 ・小学生の子が積極的に手伝えるように環境を整え、働き掛けていく。 ・子ども達の気持ちを受け止めながら、次の活動へと思いが高まるような声掛けをする。
10:25		○排泄を済ませ、水着に着替える。 ・プールに船を浮かばせることを楽しみにしながら着替えをする。	・「何が起こるんだろう?」とドキドキした気持ちが膨らむような演出を心掛ける。 ・床が濡れて滑りやすいので、すぐ拭くことが出来るように雑巾を用意するなど、安全面に留意しながら楽しめるようにする。 ・更にワクワクした気持ちになるような雰囲気づくりを大切に、必要に応じて見守る。
10:40	<場所> ・プール（屋上） （1組・2組時差で行う）	○プールでふねを浮かばせて遊ぶ。 ・ふねを浮かばせ嬉しくなり、水をダイナミックに掛け合う。 ・友だちと一緒に自分で作ったふねで遊ぶことを楽しむ。	・どうしたら動くのかを考えられるように問いかけ、子ども達と一緒に様々な工夫をしていく。 ・浮かばせるだけでなく、競争をしてみるなど、子ども達の遊びがより発展していくように働きかけていく
11:05		○ふねを片付け、着替えをする。 ・自分の作ったふねを大事に片付ける。 ・友だちや保育者と「楽しかったね」「また遊びたいね」など、共感し合い、余韻に浸る。	・子ども達が片付けしやすいように環境設定を工夫する。 ・楽しかった気持ちを受け止め、また遊びたいという意欲へと繋げていく。

《評価のポイント》

- ・作ったふねでの遊びを通して、水の面白さや不思議さを感じ、友だちと表現し合うことができたか。
- ・期待感を持ち、自分達から手伝いや身支度、あそびに取り組めたか。

【4 歳児の保育】

1 組 26 名（男 15 名 女 11 名） 2 組 26 名（男 15 名 女 11 名）

<1 年間のテーマ> 『 UP 』

健康な心と体（健康） power up！

自然との関わり・生命尊重

- ・日々、継続して運動遊びをしていく。・山に登る、たくさん歩く。

自立心 **協同性** **道徳性・規範意識の芽生え** **社会生活との関わり**（人間関係）

Line up！…整列、集結！ Tie up！…しっかりと結ぶ！

- ・自分のことを自分でやろうと思える子。・気持ちの良い挨拶をする子。
- ・みんなで一緒にすることを楽しむ子。

言葉による伝え合い（言葉）

- ・話を聞く耳をもつ子。・良いところを見つけて言える子。・会話を楽しみ盛り上がる子。

思考力の芽生え **自然との関わり・生命尊重** **数量や図形、標識や文字などへの関心・感覚**（環境）

Think up！…考慮、発明！

- ・「なんでだろう？」「どうしてだろう？」という好奇心旺盛な子。
- ・生長を楽しみに大切に育てる心を持つ子。

豊かな感性と表現（表現） skill up！…技術力を高める、腕前を上げる！

- ・思ったことや感じたことを素直に出せる子。・もっと もっと！と意欲的な子。

<4 月からの成長>

Never give UP…あきらめない心

生活する力

- ・保育室が 1F から 2F になり、大きく環境が変化したが、多少の緊張と大きな意欲をもって、4 月がスタートしました。
- ・基本的な生活の自立はできているので、自分でできることは、頑張ってやろうとしている。
- ・どんどんやりたい！いっぱいやりたい！どんなことでも張り切ってチャレンジ！という意欲的な姿が多い中、得意じゃないこと、やりたくないことをごまかそうとする様子も見られている。



5 月 創造大学にて
学生との交流
裏の土手で
土手すべり

社会生活との関わり

かかわる力

- ・自分の思いと相手の思いの違いに少しずつ気づいている子もいる。
- ・友達との話し合いでは、上手く折り合いがつかないことが多く見られるが、上手いかない経験が子ども達の考える機会となっていると感じられる。

学ぶ力

- ・思いっきり、大胆に！発散する活動と、細かく丁寧に！収束する活動を繰り返す中で、丁度良い具合に調節する力を培っている。
- ・また、今は、何をするときなのか？という活動の切り替えや行動の切り替えが少しずつ、身についている。



6 月

遠見山登頂！

5 月

蔵王山登頂！

健康な心と体



たくさん
お水を
飲んでね。



あかはら
いもり



<成長にそった経験のねらい>

- ・自分で、また、友達と一緒に気づき、発見しながら、色への感性や表現する力を育む。

5月・7月

<クッキング>
・クッキー作り。
1年間のテーマ
こねる、まるめる
つまむ、まぜる

ほら！
かおクッキー(〽)/

4月～7月

- ・デカルコマニー
(合わせ絵)
- ・和紙染めなど

豊かな感性と表現

豊かな感性と表現



できた。
両方、同じ
すこいらう。

数量や図形、標識や文字などへの
関心・感覚

1、2、3、....
いっぱい、できたね



どうしたらいい？
ん～、こまったな。

思考力の芽生え



自立心

本時

1 組
<よく見て、色を作って、
塗ってみよう>

2 組
<小麦粉粘土を混ぜて、い
ろいろな色を作って
遊ぼう>

8月

<色水あそび>
・たくさんの色、作れるかな？

<ジュース屋さん>
・お店屋さん、どうやるの？
・お買い物できるかな？

ええ～と、..
これは、10円だから、
これじゃなくて…。

ジュースは、1つ
100円で～す。

協同性

なんで？
あっちの水は、
赤い？？

言葉による伝え合い
道徳性・規範意識の芽生え

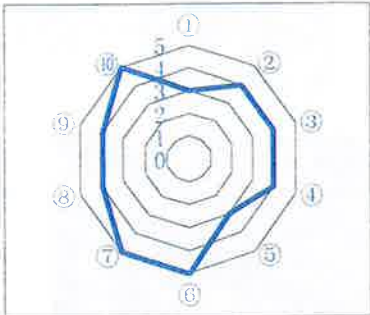
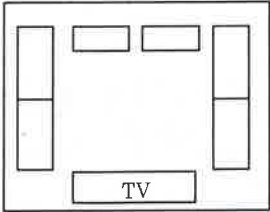


こうやると
かたまるんだよ。

思考力の芽生え



- ・目指せ！クッキー職人
- ・ザリガニの飼育（クラス）
- ・冬野菜の栽培（学年）
- ・100色絵画（52人協同）
- ・遊戯室いっぱいの絵
（52人協同）
- ・紙粘土せいさく（個人）

子どもの姿			
・身近な生き物に興味を持ち、観察し、友達と話をしている。 ・色水遊びで、色を混ぜる面白さを感じている。 ・友だちと塗り絵あそびを楽しんでいる。			
本時のねらい			
・ザリガニを観察し、詳しく知る。 ・絵の具を使って混色することや塗り絵を楽しむ。			
活動			
「ザリガニを観察する。絵の具を混色し、塗り絵をする。」			
【活動からの育ちが望まれる 10 の姿の分析】			
①健康な心と体 ②自立心 ③協同性 ④道徳性・規範意識 ⑤社会生活との関わり ⑥思考力の芽生え ⑦自然との関わり・生命尊重 ⑧数量・図形、文字等への関心・感覚 ⑨言葉による伝え合い ⑩豊かな表現と感性			
時刻	環境・準備	予想される子どもの活動	援助・配慮
10:30	〈場所〉 ・保育室	○保育者の話を聞く。 ・何をするのか、期待が高まっている。	・期待が高まるような雰囲気作りをする。
10:35	〈準備する物〉 ・ザリガニ ・TV ・ビデオカメラ	○TV に映したザリガニを観る。【④、⑥、⑦、⑨、⑩】 ・映し出されたザリガニに興味を持って観ている。 ・気付いたことを声に出して話している。	・個々の声に耳を傾け、ザリガニへの興味が膨らむような話の流れを大切にす る。 ・子どもの驚きなどの気持ちを一緒に共 感しながら、生き物への興味や関心、 探求心が持てるように関わる。
10:45		○気付いたことを発表しあう。【②、④、⑤、⑥、⑦、 ⑨、⑩】 ・みんなの前で自分の発見、気づきを発表している。 ・友達の話聞き、共感している。 ・恥ずかしい気持ちから、挙手をして自分の言葉で発 表できない子がいる。 ・保育者から色々なザリガニの話聞き、驚きや気付 きに繋がっている様子がある。	・言葉で表現する気持ち良さを感じられ たり、自信に繋がったりするように、 発表しやすい雰囲気作りをする。 ・更なる発見に繋がれるような知識を 伝えたり、友達の思いをみんなで共有 したりできるような言葉かけをする。
10:50		○必要なものを支度し、班の友だちと一緒に絵の具を 混ぜて色を作る。【②、③、⑤、⑥、⑧】 ・作りたい色にするにはどうすればよいのか考えなが ら、色を混ぜている。 ・少しずつ違う赤色の絵の具ができ、面白さを感じて いる。 ・思ったような色が出来ず、困っている。	・色の明暗や量の割合など自分達で考え て作っていけるような声掛けをして、 見守っていく。 ・全体を見ながらも個々の様子を捉え、 満足感に繋がるような援助を心掛け る。
11:00	〈準備する物〉 ・絵の具・スプーン ・ザリガニの塗り絵の紙 ・筆・雑巾	○ザリガニの塗り絵に色塗りをする。 【②、④、⑥、⑦、⑩】 ・作った色で塗り絵をしている。 ・細かな色の違いを、本物のザリガニをよく観て塗ろ うとしている。 ・はみ出さないように気をつけながら、丁寧に色ぬり をする。	・正しい筆の使い方を伝えながら、色の 違いを気付いて部分的に色を変えてい けるように配慮する。 ・一人一人、違った色の感性を大切にし、 表現豊かに色に親しんでいけるように する。 ・みんなで見せ合う時間を作り、達成感 や満足感を共有できるようにする。 ・友達との関わりが深まっていくように、 個々の動きを見守り、援助する。
11:20		○完成した塗り絵を見る。【⑤、⑥、⑨、⑩】 ・塗り絵を見て、出来た喜びや達成感を感じている。 ・友達の物を見て、違いや良いところを伝え合ってい る。	
11:30		○片付け、掃除をする。【③、④、⑤、⑨】 ・雑巾を持って汚れたところを率先して拭こうとする。	・綺麗になっていく気持ちよさを味わえ るような雰囲気づくりを大切にす

《評価のポイント》

- ・ザリガニを観て、色々なことに気づき、発見できたか。
- ・筆を使っての色塗りを楽しめていたか。

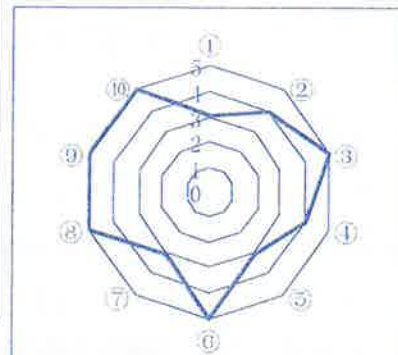
子どもの姿

- ・色水をジュースに見立てて、様々な種類のジュースを作る姿がある。
- ・クッキー作りや粘土、どろんこ遊びの中で、こねる、丸めるなどを楽しんでいる。

ねらい

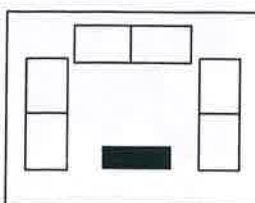
- ・色の混色の不思議さに興味を持ち、友だちと一緒に色の変化を楽しむ。
- ・指先の感触や力加減を感じたり、調節したりしながら、思い思いに作る。

活動 「色水遊び」 「小麦粉粘土遊び」



【活動からの育ちが望まれる 10 の姿の分析】

- ①健康な心と体 ②自立心 ③協同性 ④道徳性・規範意識 ⑤社会生活との関わり ⑥思考力の芽生え ⑦自然との関わり・生命尊重
⑧数量・図形、文字等への関心・感覚 ⑨言葉による伝え合い ⑩豊かな表現と感性

時刻	環境・準備	予想される子どもの活動	援助・配慮
10:30	〈場所〉 ・保育室	○保育者の話を聞く。 ・今から行う活動に興味を持ち、ワクワクした表情を浮かべている。 ・保育者が作る色水を見て、期待が膨らむ。	・色水を置いておき、興味がわくような環境作りを心掛けていく。 ・様々な種類の色水が作りたいと思えるような、言葉がけをする。
10:35	〈準備する物〉 ・色水（赤・青・黄・白） ・小麦粉粘土→色付き（赤・青・黄） ・画用紙（黒・紺） ・ボウル ・雑巾 ・銀皿×6 ・粘土ベアなど	○色水遊びをする。【②、③、④、⑥、⑦、⑧、⑨】 ・「〇〇と〇〇を混ぜてみようよ」と友だちと一緒に話をしながら、混ぜる姿がある。 ・色の変化に不思議さを感じる。 ・作りたい色を友だちと考えて作り、喜び合う。 ・友達と折り合いがつけられず、自分の思い通りにやりたがる子がいる。	・子どもの配置や、動線を考えながら、活動がしやすいように環境を整えていく。 ・色が混ざり、変化していく様子を伝え合えるように、必要に応じた言葉がけをしていく。 ・子どもの気づきに共感し、発見する楽しさや嬉しさを味わえるようにする。
10:50		○色付きの小麦粉粘土が出来る様子を見る。 ・粉から固まりの粘土状に変化する様子に、興味を持ち、期待が高まる。	・混ざっていく過程に興味を持ち、不思議さや面白さを感じ、「やってみよう！」と思えるような演出の工夫をする。
10:55	■ ⇒準備した物を置く机	○小麦粉粘土遊びをする。【①、②、③、⑥、⑩】 ・小麦粉粘土でも色が混ざっていく面白さを感じる。 ・カラフルな小麦粉粘土ができ、友だちと共感をする。 ・イメージを膨らませながら、思い思いに作るうとする姿がある。	・不思議に思ったことや気づいたことを言葉にする経験を味わえるようにする。 ・子ども達のイメージが膨らむ言葉がけや雰囲気づくりをする。
11:10		○小麦粉粘土で花火を作る。【②、③、④、⑥、⑨、⑩】 ・班の友だちとどのように作るのか話をしながら、協力して作る。 ・完成した花火を見て、出来た喜びを共感し、満足感を味わう。	・友だちとの言葉のやり取りがより広がっていくよう見守る。 ・満足感や「またやりたい！」という思いに共感し、次への期待に繋がる声掛けをする。
11:25		○片付けをする。【①、②、③、④、⑤】 ・使った物を片付けたり、ゴミ拾いや雑巾がけをしたりして、部屋を綺麗にする。	・部屋が綺麗になっていく気持ち良さを味わえるようにする。

《評価のポイント》

- ・色の変化に気づき、楽しみながら友だち同士で伝え合う事ができたか。
- ・指先を使ってこねていき、イメージを膨らませながら表現することができたか。
- ・友だちと協力して達成感を感じる事ができたか。

【5 歳児】 つき1組 27名 (男12 女15)
 つき2組 28名 (男14 女14)



私だって
できるように
なりたいっ

〈 1 年のテーマ “自分らしく、つき組らしく” 〉

- 自分らしさを大切に！みんな違ってみんないい！自分の思いや考えをしっかりとみんなの前で表現し、やりたいことにむかう姿って素敵だね。【健康な心と体】【自立心】
- 自分の気持ちとまわりの人の気持ちは同じかな？違うかな？同じだったらどうなのかな。違っていたらどうしたらいいのかな。【言葉による伝え合い】【社会生活との関わり】
- つき組らしさって？はじめ、手本、優しさ、一生懸命…。楽しい事やおもしろい事や好きなことばかりじゃない事もあるけれど、そこを頑張ってやってみよう。苦手な事や我慢した事は、乗り越えたらカッコいいよ！
 【道徳性・規範意識の芽生え】【共同性】
- まわりには不思議なことや面白いことがいっぱい！なんで？どうなるの？やってみたい！自分からどんどん取り組んでみよう！失敗したって大丈夫！【思考力の芽生え】【自然との関わり・生命尊重】
 【豊かな感性と表現】【数量や図形、標識や文字などへの関心・感覚】

〈4月からの姿〉

みんなで遊ぶのが
楽しいんだよね～！

私たちの班の
一番ステキな所は
ここなんだよ！

みんなの前で
発表！
自分の気持ち
友達気持ち

集団あそび
ルールの大切さ



せいさく活動
作り上げる楽しさ



ほんとだ～
きれいな色だね！



ていねいに…
ていねいに…

観察画
よ～く見ると？
たくさんの不思議発見！



ひょえ～！

マラソンがんばったよ！
次は1級めざすぞ！



日舞



ゆかたの着方・ひもの結び方
指先のぼして しなやかに…

ほくたちが育てたトマト。
よく見ると、葉っぱが
おもしろい形してるね！

どろんこ遊び
感覚や感触
水の動きや流れ



どう？気持ちいい？
私もやってみたい！

<成長にそった経験のねらい>

- ・ 遊びや生活の中で、数や図形やひらがななどに親しみ、自らの生活感に基づきそれらを活用する。
- ・ 身の回りにあるものと関わり、驚いたり不思議に思ったりして、心が動く。

<ねらいを達成するための活動の流れ>

☆4月～

【数に親しむ】

- ・ 猛獣狩りゲームなど、数を取り入れた遊びをする。

- ・ 数の概念を把握し、集団遊びの中で数や数字に親しんでいく。
- ・ 遊びの中で、数や量の面白さに気づいていく。

☆本日（8/29）

【数遊びをする】（8月29日） つき1組

- ・ ペットボトルや体を使って数遊びをする。
- ・ 数を取り入れた集団あそびをする。

- ・ 生活の中にある身近な物に触れながら、数や量に興味や関心を深める。
- ・ 友達と相談し、思いを共有して遊ぶ楽しさを味わう。

☆9月～

【数遊びをする】

- ・ 友達と数を足したり、引いたりして、量の違いに気づく。

- ・ 数だけでなく、量や重さや長さなどにも、楽しみながら気づいていく。
- ・ 数遊びの楽しさに気づき、自分から考えたり疑問を解決しようとする。

<成長にそった経験のねらい>

- ・ 友達と関わる中で、互いの思いや考えを共有し、共通の目的の実現に向けて、みんなでやり遂げる。
- ・ 自然の恵みや調理する人への感謝の気持ちを育み、食への興味や関心を持つ。

<ねらいを達成するための活動の流れ>

☆4月～7月

【食育活動】

- ・ 米とぎ
- ・ みそ汁作り
- ・ 包丁体験
- ・ お泊まり保育（カレー野菜切り、朝食作り）

- ・ 友達と役割分担したり、話し合ったりしながら、協力して一緒に作る事を楽しむ。
- ・ 安全面に気をつけながら作る。
- ・ 育てたり、作ってくれた人への感謝の気持ちを持つ。

☆本日（8/29）

【ポテトサラダ作り】 つき2組

- ・ 包丁を使って、具材を切る。
- ・ 材料の量を加減しながら混ぜ合わせる。

- ・ 安全に気をつけて、丁寧に野菜を切る。
- ・ みんなで分担して協力し、みんなで作ったという喜びと、自分で調整する面白さを味わう。

☆9月～

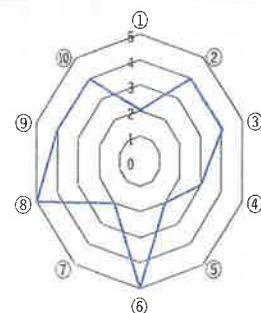
【食育活動】（9月～）

- ・ 感謝の気持ちと作って喜んでもらう気持ちを育む。
- ・ 様々な材料や調理方法などに関心を深める。

- ・ 友達と一緒に考えたり、工夫したり、相談しながら活動を進めていく。
- ・ 食事が健康や成長につながる事を意識し、感謝の気持ちやありがたい気持ちを持つ。

平成30年8月29日(水)

子どもの姿	・時間を意識し、友達同士で知らせ行動しようとする姿がある。 ・プールあそびを存分に楽しみながら、目標に向かって取り組んだり、刺激し合ったりする姿が見られる。 ・成長の段階なのか、生活の中で面倒だという気持ちも表れ始めている。
ねらい	・生活の中にある身近なものに触れながら、数や量に興味や関心を深める。 ・友達と相談し思いを共有して遊ぶ楽しさを味わう。
活動	・ペットボトルキャップや体を使って数あそびをする。 ・集団あそびをする。



【活動からの育ちが望まれる10の姿の分析】

- ①健康な心と体 ②自立心 ③協同性 ④道徳性・規範意識 ⑤社会生活との関わり ⑥思考力の芽生え ⑦自然との関わり・生命尊重
⑧数量・図形、文字等への関心・感覚 ⑨言葉による伝え合い ⑩豊かな表現と感性

時刻	環境・準備	予想される子どもの活動	援助・配慮
10:00	<場所> ・保育室 <準備するもの> ・ペットボトルキャップ (赤・青・黄色) ・すくう用カップ ・ダンボール 机 ・机を重ねる 机	○保育者の話を聞き、必要な物を用意する。 ・共有の物は班長が用意をする。 ○ペットボトルキャップで数遊びをする ・カップを使いペットボトルキャップをすくってお道具箱のふたに入れる。 ・取れた量を見て気持ちが高まり、友達と見せ合う。 ・キャップに色が着いていることに気づき関心が高まる。 ・1回目は個人で、2回目は班ごとで全部で何個だったか？色別で何個だったのか数える。 ・並べたり、声を出したりして数える。 ・合わせるとたくさんになることに喜び姿がある。 ○何個あったのか発表をする。 ・多い、少ないなど数の違いに気づく。 ○片づけをする。 ・箱に戻しながら、クラスみんなで何個あったのか数える。 ・友達と合わせると、大きい数になることにワクワクした表情を浮かべる。 ○体のパーツで数遊びをする ・体の中にあるパーツの数を気づいてカードに書く。 ・友達と相談したり、調べたり顔を見合わせてカードに記入する。 ・2人組、3人組など友達と合わせて何個なのか？何本なのか？体を使って、友達同士で数を数える。 ○何個、何本あったのか発表する。 ・それぞれ気づいたことや思ったことを伝え合う。 ○集団あそびをする。 ・保育者の言葉を聞いて、言葉の数と同じ数の友達を見つける。 ○保育者の話を聞く。 ・気づいた思いを共有する。	・今からの活動に期待感を持ち、準備する物の見通しが立つように話す。 ・十分にすくえる場所や、ゆとりに配慮した環境構成を整える。 ・次はどんなことが待っているのか期待が高まるような言葉掛けや演出をする。 ・高まる気持ちや困っている表情も受け止めながら一人ひとりが参加できるように関わり方を大切にしていく。 ・友達同士で個数の違いにも気づけるような言葉を掛け関心が高まるように関わっていく。 ・伝え合う時間を作ることで、他の班との個数の違いに気づき関心が高まるような雰囲気をつくる。 ・クラス全員が力を合わせると満足感が味わえる雰囲気作りを大切にいく。 ・数えたり、調べたりする姿を受け止め、子どもたち自身が気づき分かった！と思える関わりをする。 ・人の体の部位について気づき、知ることができるようにパーツの数をクラス全体で気づきを共有していく。 ・視覚に頼る子は言葉を聞いただけで理解できているのか個々の様子を瞬時に受け止め援助していく。 ・子どもたちの言葉を受け止めながら、次への意欲へと繋がる言葉を掛ける。

《評価のポイント》

- ・数や数字に楽しみながら関わり、さらなる興味や関心が深まったか。
- ・友達と協力する事の面白さを味わい、友達と共感して達成感を味わうことができたか。

平成30年8月29日(水)

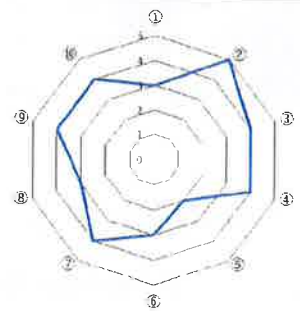
子どもの姿 ・自分の気持ちだけではなく、少しずつ友達の思いに寄り添い、譲りあったり、折り合いをつけることができるようになっていく。

・野菜の切り方、調理の仕方など食への関心が高まってきている。

ねらい

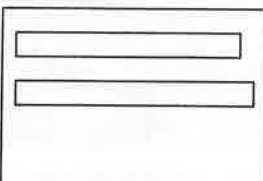
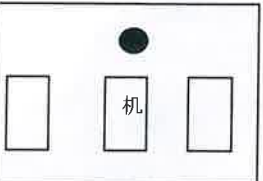
- ・包丁を正しく扱い、安全やケガに気を付けながら使う。
- ・友だちや異年齢児と役割を分担し、一緒に作る喜びを味わう。

活動 ポテトサラダ作り



【活動からの育ちが望まれる 10 の姿の分析】

- ①健康な心と体 ②自立心 ③協同性 ④道徳性・規範意識 ⑤社会生活との関わり ⑥思考力の芽生え ⑦自然との関わり・生命尊重
⑧数量・図形、文字等への関心・感覚 ⑨言葉による伝え合い ⑩豊かな表現と感性

時刻	環境・準備	予想される子どもの活動	援助・配慮
10:00	<場所> ・保育室  ・高机 ・座卓 ・包丁 ・滑り止め ・皿 ・茶碗 ・キュウリ ・ハム 	○クッキングの準備をする。 ・保育者の言葉を聞いたり、ホワイトボードに描いてあることを見たりして、自分で考えて行動する。 ・エプロン、三角巾を自分でつけたり、友だちと協力したりしながら支度をします。 ・支度が終わった子で机を拭きできれいにしていく。 ・手洗い、消毒をすませ座卓の前に座って待つ。 ○保育者の話を聞く。 ・包丁を使うこと、自分たちで食べる物を作ることに期待を持ち、早く作りたいという気持ちになる。 ・安全にクッキングをしていくことができるように保育者の話をしっかりと聞く。 ○包丁を使って調理していく。 ・包丁の持ち方、使い方、手の添え方などを意識して丁寧にキュウリ、ハムを切っていく。 ・切れたことを満足感や充実感を味わいながら、一つひとつ丁寧に皿に移していく。 ・切るものが小さくなっていくことで、切りにくさを感じる。 ○片づけをする。 ・エプロン、三角巾をとり丁寧に畳みカバンの中に入れよう。 ・机を運んだり、拭いたり積極的に手伝いに取り組む。 ○ポテトサラダを作る。 ・年中児が漬してくれたジャガイモ、自分たちで切ったキュウリ、ハム、その他の野菜を自分で量を調節して混ぜる。 ・同じ班の子で、よそう順番を話し合ったり、じゃんけんをしたりして決める。 ・他の子のことも考えて、よそう量を調節する。 ・作ったサラダを友達と見せ合う。	・事前に、支度や活動の流れを言葉だけではなく、ホワイトボードを活用して伝えていくことで、活動に見通しを持てるようにする。 ・子ども同士で協力して支度をする事が出来るように言葉がけをする。 ・子ども達が集中して聞くことができるように、簡単な言葉で端的に伝えることができるように、工夫して説明していく。 ・刃物を使うので、安全に使うことができるようにしっかりと持ち方や使い方を伝えていく。 ・安全に配慮しながら、子ども達の真剣に作業に取り組む姿を静かに見守る。必要に応じて、持ち方などを再度伝えていくようにする。 ・切りにくくなってしまったものを置き方や持ち方などを工夫できるように声をかけ、少しでも切りやすいように配慮する。 ・子ども達が一つひとつ丁寧に畳むことができるように促していく。 ・次の活動にスムーズに行けるように、子ども達と協力して机の配置をしていく。 ・同じ班の子と分け合ってポテトサラダを作ることを伝えていくことで、子ども達が自分たちで順番や量の調節を工夫することが出来るようにしていく。 ・子ども達の自分のサラダの美味しいところ、自慢できるところを友だち同士で伝え合うことができるようにする。

《評価のポイント》

- ・安全に気をつけながら、包丁を丁寧に使うことを心掛けることができたか。
- ・同じ班の子や異年齢児と協力して作る事を楽しみ、量の調節など工夫をする事ができたか。

【 児童クラブ 】

第1 明照児童クラブ 52 名（2 年生 31 名/3 年生 21 名）

第2 明照児童クラブ 42 名（4 年生 23 名/5 年生 10 名/6 年生 9 名）

第3 明照児童クラブ 44 名（1 年生 44 名） 総合計 138 名

「押すなよ〜！」

「絶対に押すなよ〜！！」

○ 1 年のテーマ『 よくあそび、よくまなび、つよい子になろう 』

- ・安心で安全な環境のなかで毎日の生活を自分で考えて送る。
- ・園児のよいお手本となれるような行動と言動を心がける。高学年の子は低学年の子の様子も見る事が出来る視野の広さを身につける。
- ・自分たちで活動の企画・運営が出来るように支援していく。
- ・園児との関わりあいや保育者の手伝いをクラブの活動の一環として積極的に行っていく。
- ・この児童クラブでしか出来ない特別な経験を体験しよう！！
- ・子どもたちが児童クラブで好きな活動が思いっきりできるように、職員で話し合う。



児童クラブではクラブ内外のさまざまなイベントに積極的に参加していきます。
そこでのかけがえのない経験が、子どもたちをさらに成長させていきます！！



○ 4 月からの成長

- ・学年が上がったことで、その学年に応じた自覚が見られるようになってきた。下の子や園児の面倒を見たり、支援員や保育者の手伝いも、積極的に出来るようになってきた。
- ・1 年生は同学年の子だけでなく上級生と一緒に遊び、時間を過ごすことが多くなって来た。そして上級生から学んでいく姿がみられる。1 年生の子は児童クラブでは一番低学年になるが、年長児の子たちにとっては、一番身近で憧れの存在となっている。
- ・5、6 年生の子どもたちは、保育園とクラブ全体の子どものリーダーとしての自覚と責任を持った行動や言動、所作などが出来るようになってきた。本当に頼れる存在となった。
- ・縦割りの環境の中、学年や男女に関係なく遊んだり、活動を行うことが出来るようになった。



「トッピングはこれですね。」

「ありがとうございます！」

《 児童クラブショップにて 》

2 歳児の活動のお手伝い。

手についた絵の具を洗って

くれています！



○ 園児との交流による成果

普段から園児のクラスに交流と手伝いに行っているが、特に夏休みは朝から小さい子のお世話をする事で、児童クラブ内でも以前より高学年の子が低学年の子に優しく、積極的に接することが出来るようになった。低学年の子も小さな子から頼りにされることで、自信を持って普段の生活を過ごす姿がみられる。保育室から戻った子どもたちからは「小さい子たち、めっちゃかわいかった！」「全然言うこと聞いてくれなかった！！」など、いろいろな感想や思いが聞かれる。

◎成長にそった経験のねらい

- ・お手伝いや小さな子のお世話をすることで、責任感を持って活動する経験ができる。
- ・人の役にたつことでの達成感や満足感を得る。



◎ねらいを達成するための活動の流れ

☆6月上旬【手伝いとお世話の練習】

- ・希望者および当番で、保育園のクラスや先生の手伝い、小さな子のお世話をする。
- ・絵本の読み聞かせなども行う。

- ・手伝いやお世話の楽しさや難しさを感じる。
- ・絵本を読んだりすることで、子どもへの言葉かけやかかわりを工夫する。

☆本日（8月29日）【各クラスのお手伝い】

- ・各クラスの活動の手伝い、子どものお世話をする。
- ・1日そのクラスで過ごし、園児たちと交流を図る。

- ・園児や保育者の様子を見て、自分で考えて積極的に行動出来るようになる。
- ・“人の役に立つ”ことで自信を持つ。

☆9月以降【継続的な手伝いとお世話】

- ・継続的にお手伝いとお世話を行う。

- ・各クラスの活動のなかで責任を持って自分の役割を果たすことが出来る。

◎成長にそった経験のねらい

- ・チームで目標に向かってがんばることで、仲間同士の絆や連帯感が生まれる。
- ・演技（表現）をする楽しさや緊張感を味わい、目標を達成する難しさを克服し達成感や満足感を得る。
- ・仲間や友達の演技を見ることにより、次は自分も参加したいという意識が生まれる。

◎ねらいを達成するための活動の流れ

☆6月上旬【話し合い】☆7月上旬【練習】

- ・子どもたちと話し合いメンバー、演技内容を決定する。
- ・個人および各チーム集まり練習する。
- ・練習をしている姿を見学する。

- ・活動内容およびそこまでの過程を説明し、理解したうえでメンバーをつのり、チーム分けや演技内容を決める。
- ・チームとして演技をすることの難しさを感じながらも、教えたり、助け合いながら上達を図る。
- ・参加しなかった子どもたちが、練習するメンバーの姿を見ることで、“やりたい”という気持ちが芽生える。

☆本日（8月29日）【リハーサル】

- ・本番と同じ流れで通し練習を行う。
- ・見られることの練習として、演技の見せあいと見学会を行う。

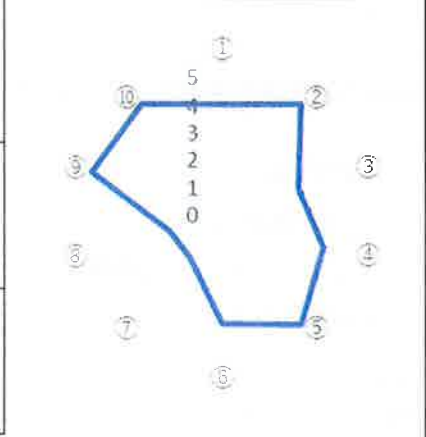
- ・本番同様に演技を行っていくことで、本番の流れを理解し雰囲気を感じる。
- ・見られることの緊張感を感じながらも、自信をもって演技をする。

☆9月1日【発表】

- ・夕涼み会にて演技の発表をする。

- ・たくさんの人前で演技をする楽しさや緊張感を味わう。
- ・個人およびチームとしての達成感を得る。

子どもの姿
・夏休み中の児童クラブでの生活を有意義に過ごしている。
・園児との交流やお世話を苦戦しながらも、楽しんでいる。
ねらい
・クラブの生活や手伝いを通じ、自ら生活する力を身につける。
・小さい子から頼りにされることで、達成感や自信を持つ。
活動
・保育園の各クラスのお手伝いと小さい子のお世話をを行う。
・トーチトワリングとダンスのリハーサルを行う。



【活動からの育ちが望まれる 10 の姿の分析】
①健康な心と体 ②自立心 ③協同性 ④道徳性・規範意識 ⑤社会生活との関わり ⑥思考力の芽生え ⑦自然との関わり・生命尊重
⑧数量・図形、文字等への関心・感覚 ⑨言葉による伝え合い ⑩豊かな表現と感性

時刻	環境・準備	予想される子どもの活動	援助・配慮
8:45		○朝の会を行い、予定や手伝いに行くクラスを相談する。 ・どのクラス、誰と手伝いに行こうか悩む。	・手伝いは異学年、男女ミックスの 3 人組を基本とする。 ・同じクラスばかりにならないよう配慮する。
9:00		○各クラスに手伝いに行く。 ・小さい子との交流、お世話を楽しむ。 (○当番以外の子は、勉強と選択あそびを行う)	・リーダーの高学年には、他のメンバーの行動にも気を配るよう伝える。 ・各クラスの先生に任せきりにせず、手伝いの様子を確認しに行き、声かけやはげまし、課題を発見する。
11:45		○園児と一緒に昼ごはんを食べる。 ・保育者を手伝い、小さい子と楽しみながらご飯を食べる。 (○当番でない子は、児童クラブで昼食をたべる。)	
13:00	〈場所〉 ・遊戯室 〈事前に準備しておくもの〉 ・BGM ・トーチなど	トーチトワリング、ダンスチーム ○本番と同じ流れで行うリハーサルであることを伝える。 ・緊張感を持って話しを聞く姿がある。	・本番直前練習であることをしっかりと伝え、意欲を高める。 ・欠席者がいた場合、その対応について説明し、本番でも同様であることを伝える。
13:10	遊戯室 舞台 演技スペース 観客	○本番と同じ流れで演技を行う。 ・本番同様の順に演技を行って行く。(全 2 組) ・大勢の観客がいることで、集中力を欠いたり、照れてしまっ てしっかりとした演技が出来ない子も見られる。	・よい緊張感の中で演技が出来るよう、意欲を高める言葉かけを行ってからスタートする。 ・失敗やアクシデントがあっても、最初から最後まで必ず通して行っていく。 ・支援員も本番同様の動き(曲だし、子どもの誘導等)を行い、確認していく。
13:30		○総括を行う。 ・本番に向けてやる気が高まる。	・本番での持ち物や注意事項を伝え、伝わっているかを確認する。

《評価のポイント》
・園児の世話をしたり関わることの難しさを感じつつ、あきらめずに自分なりに工夫する様子が見られたか。
・園児の生活やあそびを共にすることで、成長した自分を感じられたか。
・演技を行うチームは、緊張感の中でも楽しく演技をすることが出来たか。

地域貢献活動

子ども食堂「おとないさん」

「無料学習支援」

本園では以前より、障害児指定園として発達障害児等支援事業及び、児童クラブ内のフリースクールにて不登校児支援事業を行ってきました。

さらに29年度より、地域貢献活動を行う理念のもと、「無料学習支援」及び「子ども食堂」事業を立ち上げ、豊橋市とも連携しながら取り組んでいく運びとなりました。

そして今回、これらの事業をすすめていくのにあたり、名古屋大学大学院教育発達科学研究科 永田雅子研究室と共同研究する機会を得ました。

今後の予定としましては、臨床心理士資格を持つ大学院生が、定期的に本園を来訪して、分析・研究を重ねていきます。

これまで同様、地域の小・中・高・大学とも連携しながら、乳幼児期から大人になるまでの切れ目のない健やかな成長を見守るために、地域の実情やニーズに見合う方法等を模索しつつ、柔軟に対応出来る体制を築いていきたいと思ひます。

つきましては、当面の計画として別記のような形で行っていきたいと考えておりますので、ご理解・ご協力を賜りますようお願い申し上げます。

子ども食堂 おとないさん

★毎週水曜日 18:00頃～19:00頃 (木曜日は支援家庭限定)

★場所 明照保育園 2階プレイルーム

★費用 園児・学童家庭…保護者は500円、子ども250円
支援を必要とする子どもと友達は無料、保護者300円

★参加方法 職員室にて申し込み(同じ週の月曜日まで)

★定員 1日約20名

社会福祉法人 明照保育園

園長 中島 章裕

電話 0532-31-1419 Fax 0532-31-1499

水曜日の夜は

保育園で親子で食べよう!

★「保育園お迎え行ってからご飯作って片付けて…」あわただしい毎日の中で、週1回くらいはのんびりしてもいいのでは?

★「うちではなかなか食べてくれない…」なぜか保育園でみんな食べてると、バクバク食べちゃう子ども達!

★おしゃべりしながら一緒に食べませんか?

保育園の職員も加わりま〜す(´▽`)

9月5日
(水)

★豚バラ肉と冬瓜のみそ煮・
キャベツとほうれん草のツナツグ
サラダ・中華スープ&ご飯★



★肉じゃが・豆腐サラダ・
みそ汁&ご飯★



9月12日
(水)

9月19日
(水)

★カレーライス・
フレンチサラダ



★豚肉とキャベツの煮物・
ゆで卵のエスニックサラダ・
すまし汁&ごはん



9月26日
(水)

子ども食堂の様子

子育ての負担軽減と、
みんなで食べる楽しさ
の共有



- 始めてから1年以上が経過し、園児・児童クラブ家庭にも定着してきた。「毎週水曜日はここで食べよう」と楽しみに、職員室に予約に来る親子の姿がある。
- 今年度になって、地域の中学校と高校の担任・市の保健師から、利用したい家庭があるという相談を受ける。
- 保健師と共にやって来た親子に、普段から利用している家族が何気なく寄っていく。
「うちの子は子ども食堂だとよく食べるだよ。」緊張していたお母さんとお父さんの顔も少しずつほころぶ。何より子ども達が寄ってきて、食べた後で一緒に遊び出す。子どもを通しての交流で、育児の負担が少しずつでも軽くなることを願う。
- 続けて利用する中学生と小学生のきょうだいは、みんなと食べることが嬉しそうな中、気を遣っている様子も見られる。いつかここでお母さんも一緒に食べられることを願いつつ、安心して食べられる時間を工夫する。



★調理員と共に、園児や児童の保育に関わる職員が毎回入れ替わりでサポートする。親子の会話に混ざること、親子も喜び、職員にとっても親子の様子に触れる時間となっている。

明照つばめっ子

未入園家庭への子育て支援だより

平成30年4月

おひいはいで〜

社会福祉法人 明照保育園
幼保連携型こども園
明照保育園

園長 中島 章裕

〒441-8093 牟呂中村町 6-1

Tel 0532-31-1419

Fax 31-1499

URL <http://www.tcp-ip.or.jp/~meisyou/index.htm>

e-mail meisyou@tcp-ip.or.jp

子育て真っ最中のお母さん そしてこれから子育てを考えている方へ
一緒に子育てを考えたり楽しんだりしませんか？

☆私の子育てって、これでいいのかしら
☆子どもにどう接したらいいのかわからない
☆子どものことで心配なことがあるんだけど...
☆子育てを一緒にする仲間が欲しい
☆保育園で遊んでみたいなぁ



こんな思いをお持ちの方、どうぞ明照保育園にいらしてください。

そして一緒に遊んだりお話ししたりしながら、楽しく子どもを育てていきましょう！

明照保育園では、子育てを応援するために、次のことを行っています。ぜひご参加下さい。

初めて参加する時に登録していただきます。子どもさんは毎回名札シールを付けて参加します。

※子育てをこれから予定している方も、お気軽にご相談下さい。お待ちしております！

【園庭開放】9:30~10:45

園庭や遊戯室で、親子で自由に遊んだり、子どもさんを見ながら、お母さん同士も気軽に交流をしたりします。時には保育中の園児と一緒に遊んだりもします。(右の表を参照)

【親子ひろば】9:30 受付 9:45~10:45

園庭開放と同じ日に行い、同じ年齢の子ども同士で発達に合った活動を楽しみます。定員は、活動により15~20組親子の間で受け入れます。バスでの活動以外は予約の必要はありません。(右の予定表を参照)

【行事公開・参加】◎

園の行事をご案内しますので、どうぞ見学に来て下さい。(右の表を参照)

【保育園内たんけん】◆

園内やこどもたちの様子等、どうぞご覧ください。(年4回...右の表を参照)

【育児相談】

育児について、お気軽に電話・メール等でご相談下さい。必要に応じて面談も致します。

【育児講座】

子どもさんの成長や子育てについて、専門の先生をお招きして講座を開きます。詳しいことが決まりましたら、『明照つばめっ子』や掲示板等でお知らせします。

【園の情報をインターネットで公開】 <http://www.tcp-ip.or.jp/~meisyou/index.htm>

【本園への入園を希望される方へ】

入園を希望する年度の前々年度の9月より相談を受け付けます。(入園申込ではありません) また、来年度入園予定で手続きを進めているご家庭への説明会を9月初旬に実施します。日程等は7・8月の園庭開放の時に、お問い合わせください。

☆園庭開放&親子ひろばの予定

月 日	内 容	月 日	内 容
5/16	園庭開放 親子ひろば【1・2歳児】 *みんなで遊ぼう (おやつ代100円必要)	11/14	園庭開放&◆園内たんけん 親子ひろば【1・2歳児】 *楽しくつくろう
5/30	園庭開放&◆園内たんけん 親子ひろば【0歳児】 *みんなで遊ぼう (おやつ代100円必要)	11/28	園庭開放 親子ひろば【次年度0歳児】 *楽しくつくろう
6/13	園庭開放&◆園内たんけん 親子ひろば【1・2歳児】 *お絵描きしましょう	12/12	園庭開放&◆園内たんけん 親子ひろば【0歳児】 *クリスマスを楽しもう
6/27	園庭開放 親子ひろば【0歳児】 *おおきくなあれ	12/19	園庭開放 親子ひろば【次年度0歳児】 *この楽器ってどんな音？
7/4	園庭開放&水あそび	1/16	園庭開放 親子ひろば【1・2歳児】 *季節のあそびを楽しもう
7/11	園庭開放&水あそび	1/22 (火)	親子ひろば【全年齢児対象】 *バスに乗って創造大へあそびに行こう 9:30 出発~12:00 頃※予約が必要です
7/18	園庭開放&水あそび	2/4 (月)	
9/12	園庭開放 親子ひろば【1・2歳児】 *楽器を鳴らしましょう	2/5 (火)	
9/26	園庭開放 親子ひろば【次年度0歳児】 *はじめまして 自己紹介	3/6	園庭開放 親子ひろば【0歳児】 *楽器とふれあおう
10/17	園庭開放 親子ひろば【0歳児】 *楽しくつくろう	3/13	園庭開放 親子ひろば【次年度0歳児】 *みんなで遊ぼう (おやつ代100円必要)
10/24	園庭開放 親子ひろば【次年度0歳児】 *大きくなあれ		

【準備するもの】 毎回、お子さんに必要なもの(オムツ・飲み物等)はご家庭でご準備下さい。

0歳児(ねんねする子)はバスタオルをご持参されると良いと思います。

※貴重品等 unnecessaryなものは持ってこないようお願いします。

※天候や園の活動等により、予定は変更されることもありますのでご了承下さい。

※安全に楽しく遊べるよう、子どもさんからは目を離さないようお願いいたします。

※駐車場が限られていますので、来園はなるべく徒歩または自転車をお願いいたします。

車の方で、在園児さんのいる方は、「栗林床屋前駐車場」へ停めてください。

大型店舗や路上への駐車はできません。

※夏の間の水あそびに参加する方は、水あそび用オムツまたはパンツ等の準備して下さい。

☆平成30年度の行事予定です。

◎ 9月 1日(土) タ涼み会 午後5時半から

となりのお寺(普仙寺)境内にて踊ったり夜店を楽しみます。

◎ 10月 13日(土) 運動会 (神野埠頭の公園にて)

親子種目(11:30前後)に参加した後で風船やおみやげをお渡しします。

◎ 11月 10日(土) 明照まつり 10時~12時頃

◎ 12月 8日(土)~9日(日) 作品展 9時~15時頃

テーマを決めて園児の作品や絵を飾ります。

◎ 2月 24日(日) ゆうぎ会 9時~15時頃

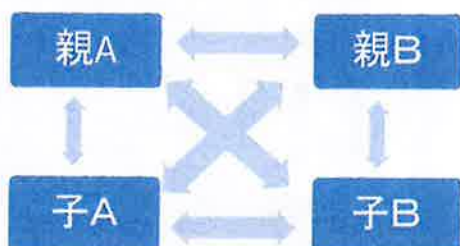
となりの牟呂小学校体育館にて行います。

【園児家庭の子育て支援】



保育参加や園行事が保護者にもたらすもの

- ★自分の子どもの成長に気づく
- ★家庭以外での(集団社会での)自分の子どもの姿を知る
- ★他の子どもの様子を知り交流
- ★他の保護者の様子を知り交流
- ★保育者の様子にふれる など



保育を子育て支援に活かすことを意識する

- ★保護者に、子どもの生活や遊びの中での10の姿の育ちを伝える
クラスだより(資料)・掲示・連絡帳を通して
- ★遊びや活動の提供・体験
自分の子育てに活かすヒント
- ★「手作り玩具の紹介」
廃材などから、自分でもできそうな気持ちを持つ工夫

【地域家庭の子育て支援】「つばめっ子だより」



園の様子を見たり、
園児と交流した親の意識の変化

★親の感想

- 10カ月の子を潔癖症気味に育てていたことに気づき、いろいろしている自分に反省。アレルギー対策のためにもある程度いろいろなものにふれる大切さに気づいた。
- 子ども達の生き生きした姿にエネルギーをもらえた。
- 大きな子たちが自分から挨拶をしてくれて、自分の子にもこんな風になってほしいと思った。
- 子ども達が役割分担するのも自分たちで話し合う様にしていて、いろいろ工夫していると思った。



「おやくる」 保護者の原動力を高める

お母さんわらってわらって～
おとうさん
おばあちゃんたちも!

- ・親としての喜びとともに、思い通りにいかないことでのストレスも味わう子育て。親だけの自分をひととき解放し、リフレッシュする時間をつくります。子どもの遊びや活動の楽しさ・難しさを経験することで、子どもだった頃のワクワクする気持ちを呼び覚ましたり、保護者同士の交流を深めたりします。
- ・時には子育てを中心に生きる知恵や知識を学び、生活に活かします。



(^o^) 6月の参加者の声(^o^)

- ♥ 子育ていろいろなことで
もやもやしてたのが、スッキリした～!
- ♥ ヨーグイト寒天もおもしろかった。
うちでも子どもと作ってみます!
- ♥ じゃこボーイやじゃが丸くんの作り方を知りたいです!
- ♥ 普段話あそこがない他学年のお母さんやお父さんたち
と、会話したい一緒に何かできる貴重な体験でした。
- ♥ いつか、屋上アスレチックでも遊んでみたいな…。



公開保育

参加者名簿

【こ】認定こども園、【保】保育園、【幼】幼稚園

No.	参加者名 (敬称略)	所 属	No.	参加者名 (敬称略)	所 属
1		豊橋市こども未来政策課	31		【保】碧南市 新川保育園
2		豊橋市社会福祉協議会	32		【保】碧南市 新川保育園
3		愛知県社会福祉協議会 事務局	33		【保】碧南市立日進保育園
4		愛知県社会福祉協議会 事務局	34		【保】名古屋市 島田第一保育園
5		豊橋創造大学短期大学部	35		【保】名古屋市 大森保育園
6		豊橋創造大学短期大学部	36		【保】岡崎市 藤川保育園
7		豊橋創造大学短期大学部	37		【保】(社)半田同胎園保育所
8		名古屋大学院	38		【保】(社)半田同胎園保育所
9		愛知学泉大学	39		【保】知立市 猿渡保育園
10		愛知学泉大学	40		【保】知立市 猿渡保育園
11		名古屋芸術大学短期大学部 保育内容研究会	41		【保】安城市 光徳保育園
12		中部コンピュータ・パティシエ・ 保育専門学校	42		【保】安城市 子宝保育園
13		保育内容研究会	43		【保】安城市 子宝保育園
14		保育内容研究会	44		【保】安城市 子宝保育園
15		愛知学泉短期大学保育内容研究会	45		【保】安城市 よさみ保育園
16		愛知県立豊橋西高等学校	46		【保】安城市 よさみ保育園
17		豊橋市立富士見小学校	47		【幼】こばと幼稚園
18		豊橋市立牛川小学校	48		豊橋創造大学短期大学部2年
19		【こ】名古屋市 天使保育園 愛知県社会福祉協議会保育部会	49		豊橋創造大学短期大学部2年
20		【こ】豊橋市立こじかこども園	50		愛知学泉大学4年
21		【こ】豊橋市 大村こども園	51		愛知学泉大学4年
22		【こ】豊橋市 大村こども園	52		愛知学泉大学4年
23		【こ】田原市 田原赤石こども園	53		愛知学泉大学4年
24		【保】豊橋市立津田保育園	54		愛知学泉大学4年
25		【保】豊橋市立津田保育園	55		愛知学泉大学4年
26		【保】豊橋市 磯辺保育園	56		愛知学泉大学4年
27		【保】豊橋市 こまどり保育園	57		愛知学泉大学4年
28		【保】豊橋市 こまどり保育園	58		愛知学泉大学4年
29		【保】岡崎市 山中保育園 愛知県社会福祉協議会保育部会	59		愛知学泉大学3年
30		【保】名古屋市 高蔵保育園 愛知県社会福祉協議会保育部会	60		愛知学泉大学3年
			61		愛知学泉大学3年
			62		中部コンピュータ・パティシエ・ 保育専門学校
			63		中部コンピュータ・パティシエ・ 保育専門学校